



広島大学

2024



150th
ANNIVERSARY

大学案内

2024-2025



漕ぎ出せ 混沌の海に
走れ 創造の彼方へ

— 100年後にも世界で光り輝く大学へ —

100年後にも世界で光り輝く大学へ

世界に選ばれる 「平和の大学」を目指して

広島大学長

越智 光夫



広島大学基本理念

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。

広島大学は、原爆投下から4年後の1949年、被爆の爪痕が残る広島の地に「平和の大学」として開学しました。これまで最先端の研究や高度人材の育成にあたる一方、「平和を希求する精神」を理念の第一に掲げ、国内初となる平和学の学術的研究機関を設け、平和に関する調査・研究に尽力してきました。今日、12学部4研究科1研究院を擁する国内有数の総合研究大学へと成長し、その幅広い知見を生かして社会の発展に寄与しています。

昨年、本学のあるべき姿の実現に向けて、取り組むべき5つの重点項目「5イニシアティブ-新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)」を策定しました。

そして2024年に本学は、開学75年、最も古い前身校である白鳥学校の創立から150年の節目の年を迎えました。ラッピングした路面電車、ひろしまフラワーフェスティバルへの参加、広島東洋カープのサポーターゲーム開催など、多くの周年事業を通じ、これまでの皆様の支援に感謝するとともに、これからも広島と共に歩むべく決意を新たにしました。

広島大学は、この節目を弾みに地域に愛され、世界に選ばれる「平和の大学」を目指して、より多くの「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を輩出し、「100年後にも世界で光り輝く大学」となるよう、引き続き努力してまいります。





広島大学 創立75+75周年

広島大学は1874年創立の白鳥学校を最も古い源流とし、1949年に新制大学として開学しました。2024年に新制広島大学の発足から75年、前史の75年を加えて150年の節目を迎え、さまざまな記念事業を展開しています。



75+75周年
ラッピング電車プロジェクト



月刊『東京人』広島大学特集号



イベント・記念事業情報

<https://150th.hiroshima-u.ac.jp/event/>



交付額

55億円
(5年間)

令和5年度 文部科学省

地域中核・特色ある 研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) 採択



本事業は、日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進するために、国際卓越大学に次ぐ研究大学を育てることを目的とするもので、提案69件中、採択12件という狭き門に、広島大学の「放射光による物質の視える化技術を核とした半導体・超物質及びパイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現」が採択されました。連携大学の神戸大学をはじめ、国内外の大学・研究機関とともに、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。



本学の提案採択について発表する
越智学長(2023年12月26日)

※9・10ページも併せてご覧ください。

THEインパクトランキング

総合スコア3年連続国内3位 SDGs 3項目で国内単独1位& 国内最多7項目で世界トップ100



大学の社会貢献力をSDGsの指標で測る「THEインパクトランキング2024」において広島大学は、SDGs項目別ランキングで国内大学最多の7項目が世界100位以内にランクイン。総合ランキングでは、3年連続国内3位(世界順位101-200位/1963大学中)となりました。

CONTENTS

03 広島大学OVERVIEW	21 地域連携
05 特集対談	23 財務
09 研究 研究者	24 広島大学の講演・講義
15 教育の特色 学部教育・大学院教育	25 キャンパスガイド キャンパスマップ 広島大学の諸施設
17 国際交流	29 データ・沿革
19 入試	30 立地・アクセス
20 学生支援	

令和4年度 文部科学省

世界トップレベル 研究拠点プログラム(WPI) 採択



交付額
70億円
(10年間)

「持続可能性に寄与する キラルノット超物質拠点(WPI-SKCM²)」

本プログラムは世界的に極めて高水準の研究拠点形成を目的とするもので、広島大学は中国・四国エリアの大学・研究機関で初めて採択されました。エネルギー・資源の枯渇、難治性の疾患など、多くの問題を解決するグリーンテクノロジーや医療イノベーションの創出を目指します。



WPI-SKCM²ウェブサイト

<https://wpi-skcm2.hiroshima-u.ac.jp/>



建学の精神「自由で平和な一つの大学」を体現する広島大学。総合研究大学として国内屈指のスケールを誇ります。また、世界各国の大学と大学間国際交流協定を結び、各地に海外拠点を設置するなど、海外ネットワークを強化し、世界にチャレンジするグローバル大学として着実に歩みを進めています。

教育研究組織 (令和6年4月1日現在)

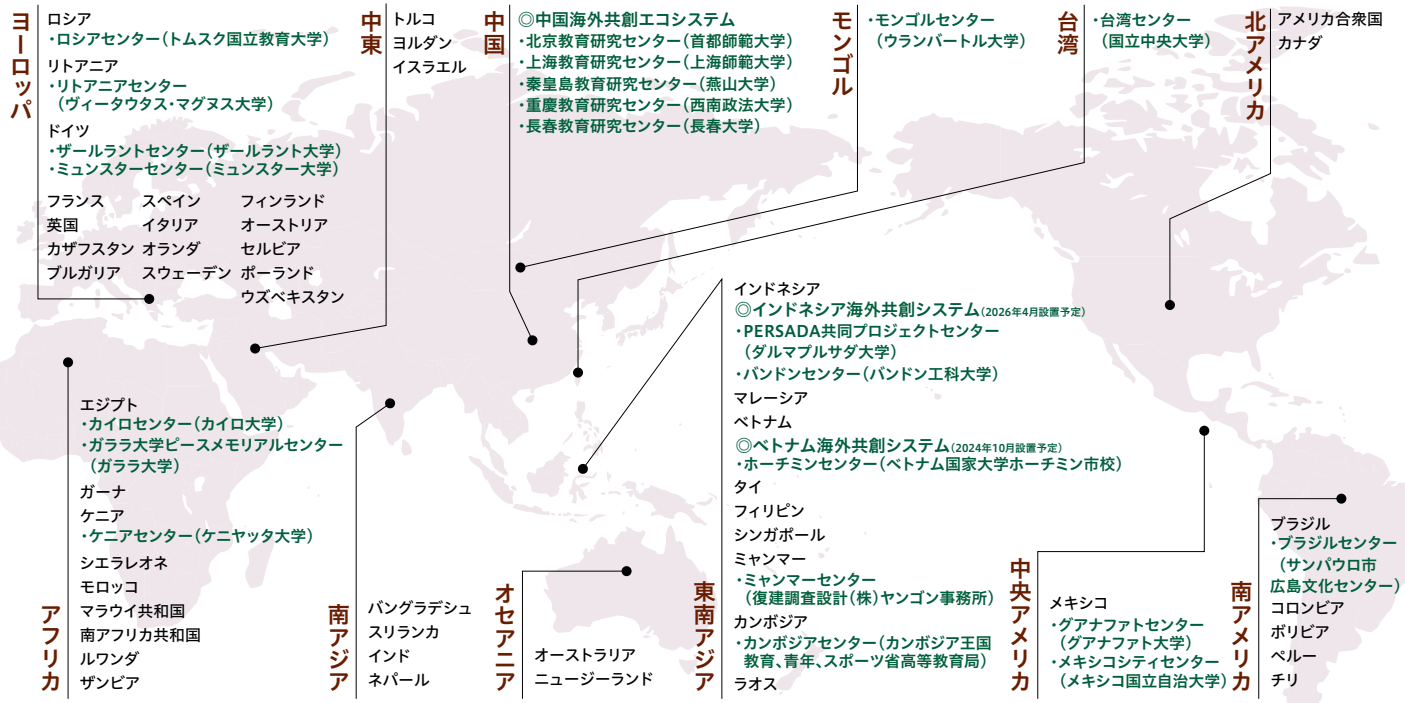
国立大学法人 広島大学

学 部		図書館	
総合科学部	総合科学科 国際共創学科	中央図書館	
文学部	人文学科	東図書館	
教育学部	第一類(学校教育系)	西図書館	
	第二類(科学文化教育系)	震図書館	
	第三類(言語文化教育系)	東千田図書館	
	第四類(生涯活動教育系)		
	第五類(人間形成基礎系)		
法学部	法学科	教育本部	
経済学部	経済学科	国際高等研究所	
	附属地域経済システム研究センター	持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所	
理学部	数学科	全国共同利用施設	
	物理学科	放射光科学研究所	
	化学科	中国・四国地区国立大学共同利用施設	
	生物科学科	西条共同研修センター	
	地球惑星システム学科	学内共同教育研究施設	
	附属未来創生科学人材育成センター	半導体産業技術研究所	
医学部	医学科	高等教育研究開発センター	
歯学部	保健学科	情報メディア教育研究センター	
	歯学科	自然科学研究支援開発センター	
薬学部	口腔健康科学科	森戸国際高等教育学院	
	薬学科	保健管理センター	
	薬科学科	平和センター	
工学部	附属薬用植物園	環境安全センター	
	第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	総合博物館	
	第二類(電気電子・システム情報系)	宇宙科学センター	
	第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	外国語教育研究センター	
生物生産学部	第四類(建設・環境系)	文書館	
	生物生産学科	スポーツセンター	
	附属農場	HiSIM研究センター	
情報科学部	附属練習船豊潮丸	両生類研究センター	
	情報科学科	トランスレーショナルリサーチセンター	
大学院		防災・減災研究センター	
人間社会科学研究科	附属幼年教育研究施設	脳・こころ・感性科学研究センター	
	附属教育実践総合センター	ゲノム編集イノベーションセンター	
	附属心理臨床教育研究センター	デジタルものづくり教育研究センター	
	附属リーガル・サービス・センター	AI・データイノベーション教育研究センター	
先進理工系科学研究科		IDEC国際連携機構	
統合生命科学研究科	附属植物遺伝子保管実験施設	A-ESG科学技術研究センター	
医系科学研究科	附属先駆的看護実践支援センター	Town & Gown未来イノベーション研究所	
	附属先駆的リハビリテーション実践支援センター	PSI GMP教育研究センター	
スマートソサイエティ実践科学研究院		ダイバーシティ&インクルージョン推進機構	
専攻科		瀬戸内CN国際共同研究センター	
特別支援教育特別専攻科		グローバルキャンパス推進機構	
附置研究所		学内共同利用施設	
原爆放射線医科学研究科	附属被ばく資料調査解析部	ハラスメント相談室	
病院		附属学校	

海外ネットワーク・拠点 (令和6年5月1日現在)

広島大学では、世界56カ国・地域と大学間国際交流協定を、また55カ国・地域と部局間国際交流協定を締結しています。2024年4月に本学のグローバルキャンパス整備を維持するため、グローバルキャンパス推進機構を設置し、海外の大学や地域とのネットワークを拡大・拡充するための中核となりうる海外共創エコシステム(ハブ拠点)の設置を進めています。

※地図中の国・地域名は大学間国際交流協定締結国・地域です。「・」以下は各海外拠点の名称と設置場所を示します(名称は一部調整中)。



国際交流協定

大学間 56カ国・地域
369機関 413協定

部局間 55カ国・地域
378機関 423協定



バドュー大学(米国)と大学間協定を締結(令和5年5月)



国立中央大学(台湾)とメガ学生交流協定(年間100人規模)を締結(令和6年1月)

各地のオフィス

東京オフィスは教職員の活動や本学学生の就職活動などを支援するほか、大阪・福岡オフィスでは入学相談などを行っています。また令和4年秋には、コワーキングスペースとしての利用やグッズなどの販売が予定されている「きてみんさいラボ」がオープンしました。

東京オフィス

東京都千代田区内幸町1-3-1
幸ビルディング2階



高大接続・入学センター 大阪オフィス

大阪府大阪市中央区道修町2-1-10
T・M・B道修町ビル3階 アーバンオフィス北浜139号室

高大接続・入学センター 福岡オフィス

福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-1
アーバンネット博多ビル4階123号

きてみんさいラボ

広島市南区松原町2番62号
広島JPビルディング2階



附属学校

広島高等師範学校や広島師範学校などを前身校とする広島大学の附属学校の基本理念と役割は、「学内外の人の発達を支援すること」です。大学の学びに接して社会で幅広く活躍できる幼児・児童・生徒を育てるとともに、大学生・大学院生の教育実習先として質の高い教員の養成に寄与しています。

翠地区(広島市)..... 東雲地区(広島市).....



附属小学校



附属中学校
附属高等学校



附属東雲小学校



附属東雲中学校

東広島地区(東広島市)



附属幼稚園(東広島園舎)

三原地区(三原市)



附属幼稚園(三原園舎)



附属三原小学校



附属三原中学校

福山地区(福山市)



附属福山中学校
附属福山高等学校

医療の未来に 大学教育ができること



藤原 康弘 氏
Fujiwara Yasuhiro
医療品医療機器総合機構 理事長

越智 光夫
Ochi Mitsuo
広島大学 学長

特集
対談

より安全で高品質な製品を、いち早く医療現場に届け、医療水準の向上に貢献する医薬品医療機器総合機構 (PMDA)。藤原康弘氏はその組織の理事長を務める医師です。本学の卒業生であり、長年、国立がん研究センターで臨床薬理学・腫瘍内科学に力を注いでこられた藤原氏が、越智学長と対談。学生時代の思い出やPMDAから見た日本の医療が抱える問題なども伺いました。

幼少期 絵心あるガキ大将

越智 本日は、PMDAの理事長としての立場から、貴重なお話を伺えることを大変楽しみにしておりました。まずは、先生の幼少期からお聞かせください。どのようなお子さんだったのですか。

藤原 あまり模範的な子どもではなかったですね。小学生の頃は典型的なガキ大将で、先生が「藤原くんと遊んではいけません」と言うほどのいたずらっ子でした。塾には通っていませんでしたし、勉強もそれほど真面目に取り組んでいませんでした。幼少期から油絵を習い、100号級の大作を描いたこともあります。小学生の頃はサッカーに夢中でした。

越智 油絵にサッカーとはなかなか幅が広いですね。子ども時代は比較的自由にされていた様子うかがえます。

藤原 ええ。中学・高校も「制服がカッコよかったから」という理由で、広島学院中学校・高等学校へ入学を決めるような子でした。

越智 中学・高校時代に興味を持たれた科目はありましたか。

藤原 好きな科目は、地理や地学、化学で、高校からは古文や漢文も好きになりました。

越智 物理はどうですか。おじい様も、お父様も、広島大学の物理学の教授でしたね。ところで、大学でもサッカーをされたのですか。

藤原 残念ながら、物理は嫌いでした。数学もあまり得意ではありませんでした。クラブ活動は、最初サッカー部に入部したのですが、軟式テニス部の先輩に「人数が足りないから来てくれ」と誘われ転部しました。



ガキ大将だった幼少期(6歳)



西日本医科学生総合体育大会で優勝した軟式テニス部の仲間とともに(後列右が藤原氏)

テニスは全国制覇 国家試験は危機に

越智 私も大学入学時、硬式テニス部に入ろうと考えていたのですが、先輩の勧誘で同じ、軟式テニスを始めました。さて、先生は医学部に入学されたわけですが、おじい様やお父様は理学部の教授でおられたのに、なぜ医学部に進まれたのですか。

藤原 祖父や父は、いわゆる研究者タイプの人たちで、私には変わり者に感じられました。一方、母方はみんな医師で、母の父親は岡山大学の医学部第二内科教授を務めていました。双方を比べ、こちらの方が自分に合っていると考え、医学部へ進みました。

越智 医学部の何科に進みたいといった具体的な希望はありましたか。

藤原 当時はなかったですね。それより学生時代は軟式テニスに夢中でした。一番の思い出は、やはり優勝ですね。熊本で開かれた西日本医科学生総合体育大会の熊本大学との団体戦決勝で、最終まで勝敗がつかず、最後の私のペアの勝利で優勝が決まりました。その時は感無量でしたね。

越智 それは忘れられない思い出ですね。ところで国家試験の勉強はどうでしたか。学業には真面目に向き合われていなかったと、何かのエッセーで見かけましたが。

藤原 危なかったですね。6年の時、札幌で開かれた全日本医科学生総合体育大会王座決定戦で団体優勝しました。メンバーと北海道を一周して帰ったところ、同級生らが一生懸命勉強していました。「これはまずい!」と相当焦りました。ただ、当時は国家試験が年2回あった頃だったの

で、そこから巻き返し、何とか試験を突破しました。

病理に憧れ 臨床の面白さも知る

越智 国家試験を受けられる前、どこへ行くか決めておられたのですか。

藤原 ええ。学生の時に第一病理で発がん実験をさせてもらっていたので、「患者の病気の原因を正確に特定する病理医になりたい」と考えていました。当時、国立がんセンター研究所の病理部の室長に広島大学出身の先生がおられたので、お願いして1カ月ほどインターンのようなことをさせてもらいました。その時の病理部長の先生は米国から帰国直後で、その先生に憧れたのも病理を志した一因です。しかし、その方に「卒業したら国立がんセンターに入り、病理をやりたいです」と訴えたところ、「病理医ですぐ飯が食えるわけじゃないから、診療のアルバイトができるように手に職をつけなさい!」と言われました。そこで忙しい救急指定病院なら、多くの貴重な経験が得られると考え、卒業後入局した広島大学医学部第二内科の西本教授に、呉共済病院を紹介してもらいました。2年ほど勤務した後、呼吸器内科へ移りましたが、臨床医の面白さもそこで知りました。

越智 呼吸器内科は、1986年に国立がんセンターのレジデント(研修医)になられてからも2002年くらいまで続けられたそうですね。その後、院長から腫瘍内科全般、特に乳がんをやってもらいたいと言われたとお聞きしました。

藤原 そうです。結局それが、前職までにつながる私のキャリアとなりました。

越智 米国でもたくさん研鑽を積まれたそうですが、いつの頃ですか。

藤原 国立がんセンターで6年間務めた後、広島大学に戻り、助手で5年ほど勤務した頃のことです。その間1年弱は学振(日本学術振興会)の公募に受かり、メリーランド大学で学びました。広島大学の総合診療部では、午前は各科で引き取っていただけない患者さんの診療、午後は助手たちで大病院に飛び込みで来られる一次・二次救急の患者さんの初診、各科への振り分けを、大学時代の先輩・後輩の伝手を駆使してやり、夕方は所属する医局の入院診療・カンファレンス、夜から朝にかけては、自身の研究と大学院生の指導をやるという生活でした。総合診療部のスタッフは皆、梁山泊のような方たちで楽しかったです。



メリーランド大学がんセンターでは先端治療開発部でスタッフとして働いた

越智 お生まれは確か米国ですね。英語は苦労されなかったのですか。

藤原 米国生まれなのですが、生まれて約1年しかいませんでした。ただ、英語に不自由を感じなかったのは、広島学院時代に、ネイティブスピーカーの先生らから単語と発音はしっかり教わったからだと思います。

研究者から がん化学療法の専門医へ

越智 臨床薬理学へ進まれたのは、米国から帰国後ですか。

藤原 そうです。当時は「薬物動態」や「薬力学」の分野が注目されていました。例えばぜんそくでは、ネオフィリンの血中濃度を調べ、適正な治療につなげていましたが、その手法を抗がん剤に導入できないかと考えていました。点滴も人によって対処能力がまったく異なるため、それが効果や副作用にどうつながるのか、非常に興味があり、

米国留学の際に研究を深めたいと考えていました。

越智 そこから臨床薬理学へつながったのですね。先生は、さまざまな分野でご活躍されていますが、一番の研究は何でしょう。

藤原 やはり抗がん剤耐性の機序に関する研究ですね。多くの若手を指導し、論文もたくさん書いて、ある程度インパクトファクターの高い英文学術雑誌に掲載されました。しかし、「ネイチャー」や「サイエンス」には取り上げられず、それで研究者の道を諦めたんです。

越智 そうですか。ずいぶん惜しい気がします。現在、広島大学の医学部では、英語の論文数および、論文の被引用数で各分野の上位10%に入るTOP10%論文が、中四国で5年間1位ですが、「ネイチャー」などは難しいですね。その後の進路はどうされましたか。

藤原 国立がんセンターで肺がんの化学療法を主体に、特にフェーズ1の専門家になろうと考えました。国立がんセンターなら、研究面も比較的恵まれており、人材育成も可能です。当時、全国から集まった人材の教育・研修を担当していたので、現在各地で活躍中の知り合い

がたくさんいます。広島や島根にも顔なじみの方が何人かいらっしゃいます。

いきなり経営担当、 プロに指導乞う

越智 その後は国立がんセンター中央病院で医長や臨床検査部長、さらに副院長も2度務められましたね。

藤原 ええ。1回目は2010年から2年間、経営担当として副院長に就き、その後、国立がんセンター全体の運営に携わりました。2017年頃に2度目の副院長を拝命した時は、臨床研究中核病院の申請と認定後に活動を軌道に乗せるノウハウが必要ということで、研究担当の副院長でした。

越智 経営への対応が求められ、ある意味、研究者から経営者へ変貌されたわけですが、異なる職務内容に違和感はなかったですか。

藤原 確かにありました。しかも私が経営



藤原 康弘氏

Fujiwara Yasuhiro

1960年米国・イリノイ州生まれ。84年広島大学医学部医学科卒。89年国立がんセンター研究所薬効試験部研究員。その後、広島大学附属病院総合診療部助手へ。この間、シカゴ大学医療センター、ジョンズ・ホプキンス大学腫瘍センター、メリーランド大学がんセンターで臨床薬理学・腫瘍内科学を研鑽。帰国後は国立衛研・医薬品医療機器審査センター(PMDAの前身)へ着任。02年4月に国立がんセンター中央病院へ転任。10年副院長。11年内閣官房医療イノベーション推進室次長を兼任。19年医薬品医療機器総合機構理事長。20年~日本学術会議第25期・26期会員。

を担当していた時は、ちょうど国立から独立法人への移行期で、大赤字になりかけていました。十数人いた経営陣が総入れ替えとなり、残ったのは私を含め3人だけ。有無を言わず、経営に注力せざるを得ませんでした。

越智 そんな厳しい状況をどう乗り越えられたのですか。

藤原 経営担当と言ってもまったくの素人ですから、たまたま知り合ったマッキンゼー・アンド・カンパニー(米国の大手コンサルティング会社)の方にお問い合わせし、経営分析などで支援してもらえ、利益を生む方法などを学びました。その後の臨床研究事業を始める際も、研究で利益が出せる組織にしたいと再度、ボストン・コンサルティングに移られたその方にサポートをお願いしました。約半年間、数人のチームが経営を分析してくれた上、米国の有名な病院の事例も見せてもらえ、大変助かりました。

越智 なるほど。経営の専門家から直々に学ばれたのですね。異分野に挑む際は、思い切ってプロの手を借りることも大切ですね。



越智 光夫

Ochi Mitsuo

1952年愛媛県生まれ。77年広島大学医学部卒業。95年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院教授。広島大学病院長などを経て、15年広島大学長に就任。膝関節、スポーツ医学を専門とする整形外科医。開発を手掛けた軟骨の再生医療は、日本発として初の保険適用となった。15年紫綬褒章を受章。19～21年文部科学省科学技術・学術審議会 総合政策特別委員会委員、17～22年日本学術会議委員、11～17年および22年から日本学術会議連携委員、21～23年文部科学省科学技術・学術審議会委員、文部科学省中央教育審議会委員。

日本医療は海外から魅力ない？

越智 組織が十分に機能していくにはチームワークが重要ですが、日頃から心掛けておられることはありますか。

藤原 「同じ釜の飯を食った仲間は、一生面倒を見る」ですかね。一緒に汗をかいた仲間が苦労していたら、必ず手を差し伸べる。彼らがどう道を切り開いていけばよいかを共に考えます。これは母方の祖父の座右の銘「敬天愛人」に影響されているのだと思います。

越智 親身になって支えることは大事ですね。2019年にPMDA(医薬品医療機器総



書類に囲まれるPMDA理事長室

合機構)の理事長になりました。PMDAから日本の医療をどう見ておられますか。

藤原 国民皆保険で誰もが均一で質の高い医療を受けられるのは素晴らしいことです。しかし、最近は新しい薬が日本に入っていない「ドラッグ・ロス」が特に深刻な問題となっています。

越智 それは薬価が安いからですか。

藤原 それもありますが、日本での開発に魅力を感じない海外新興企業が増えてきているからでしょう。日本語でのコミュニケーションが必要ですし、医療機関の研究マインドが低下していることも原因です。

越智 そうですね。日本は、大型の機器や素晴らしい研究にお金をかけますが、若手研究者にお金が回っていないという問題があります。では、どうすれば、海外から見て魅力的な研究体制が築けるとお考えですか。

藤原 やはり臨床試験を経て、製品を世に出すまでの流れを、医師が知っておくべきでしょう。私の米国留学時の1996年に米国臨床腫瘍学会と米国癌学会が合同で、若手研究者(医師)を対象に臨床試験の方法論を教育するワークショップを開始しました。全米から100人が選ばれ、製品化について約1週間、集中的に学びます。今も続いています。日本では同様の取り組みは今もありません。おそらく教えられる人材が少なく、実施のハードルは高いでしょう。製品化では、新たな治療法を開発した越智先生の事例がありますね。

越智 患者さん自身の健常な膝関節軟骨の一部を取り出して立体的に培養し、本人の軟骨の欠損した部分に移植するという再生医療技術を開発しました。その際、軟骨細胞の立体的な培養法を愛知県のベンチャー(ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング)に技術移転しました。スポーツ外傷などで起きる膝関節の軟骨欠損症の根治療法として、多くのアスリートを支えたほか、2013年4月から保険が適用され、新たな再生医療事業というビジネスの創出にもつながりました。

藤原 先生のような事例があまりに少なく、医学部の授業に還元できていないのです。

大学教育から日本医療に変革を

越智 現状を変えるため、米国のようなワークショップをPMDAが主催され、それ

を資格化するというのはどうでしょう。

藤原 医学教育が重要だと思います。米国では基礎研究やTR(トランスレーショナルリサーチ=橋渡し研究)の指導やその先の製品化までの流れ、さらにFDA(米国食品医薬品局)の仕事もしっかり教育していますが、日本の医学教育は、臨床試験の方法論や薬事の審査などまで至っていません。

越智 先生のお立場から、働きかけは。

藤原 もちろん、文部科学省へ製品に至るまでの流れを教えるよう働きかけていますし、政府の会議でも指摘しましたが、難しいですね。現状を変えるには財政面での見直しに加え、仕組みを変える必要があります。

越智 引き続き頑張ってください。ところで大学では何が面白かったですか。また、仕事の役に立った講義はありましたか。

藤原 一番面白かったのは、講義よりもウサギやマウスを使った一連の実験でした。好きなことに集中できました。そこでの多くの経験が、病理医志望になったことにつながっていると思います。

越智 中学や高校の時にも、先生のようにやりたいことに集中できる環境を作り、そういった個人の活動を一発入試ではない方法で可否を判断できる仕組みを現在、検討中です。

藤原 「好きこそもの上手なれ」ですね。

越智 最後に大学に望むこと、特に広島大学に期待することは何でしょう。

藤原 在学中、あるいは卒業後教育の中に、医薬品や医療機器などを製品化する過程について学ぶコースを作ってもらいたいですね。今はどの大学も中途半端で、基礎研究は得意でも、人への医療を変えるところまでは教えきれていません。広島大学は、そこをしっかりと教える大学であってほしいですね。

越智 独自にそういった仕組みを作るには、教えられる教授陣の確保が重要ですね。

藤原 海外の大学との連携も一つの手です。現段階でこの分野をリードしているのはオックスフォード大学でしょう。ハーバード大学にも、国際共同臨床試験を実施する部署がありますね。こういった大学との連携が実現すれば可能ではないでしょうか。

越智 ぜひ先生にご助力いただきながら、新しい仕組みを作っていきたいと思えます。本日はありがとうございました。



法学部
大学院人間社会科学研究所 准教授

長久 明日香

CHOKYU ASUKA

専門研究分野

国際政治経済学



ゼミ形式の授業では、国際政治経済学のテキストを輪読しつつ、政治経済の時事問題についても幅広く議論している。

私の最近の研究対象は、TPPやRCEPといった日本が参加する自由貿易協定を結ぶための交渉です。新聞報道などで名前だけは聞いたことがあるという方も多いと思いますが、その内容や交渉過程についてはあまり知られていません。他方で、これらの協定の締結が私たちの生活に与える影響はたくさんあります。例えば、最近ではスーパーで買い物をするとき、南米や東南アジアから輸入された商品を多く目にするようになりました。これは、日本がこれまで結んできた自由貿易協定の効果といえます。

ただし、実は、私が研究を始めた頃はまだ日本はこうした自由貿易協定には積極的に参加しておらず、私の研究対象も当時最大の貿易相手国であり、また頻りに貿易紛争が発生していたアメリカとの貿易交渉でした。現在の日米関係は、政治・経済ともに良好なため、信じられないかもしれませんが、貿易上の紛争が悪化して一時は日米が開戦間際であるということがまことしやかに語られた時代もあったのです。そして、こうした状況は何かに似ていると思いませんか。—そうです。現在の米中関係にそっくりです。日米関係と米中関係では、政治・安全保障上の緊密さが全く異なる一方で、アメリカが大幅な貿易赤字を抱え、その改善を要求して貿易紛争が激化するという構図はほとんど同じで

貿易紛争から 自由貿易協定へ。

す。そのため、私が中国人留学生と現在の米中間の貿易紛争について議論するときは、かつて日本がアメリカとの貿易紛争を交渉によって解決してきたことを踏まえ、継続的で緊密な外交交渉の重要性をお話しています。

私の貿易交渉に関する研究は、先行研究分析と主に新聞・雑誌・官公庁の資料からの情報収集、さらに交渉担当者へのインタビューなどから始まります。アメリカが主要な交渉相手国であるときは、情報収集は比較的容易でしたが、現在は日本の交渉相手国が大幅に増加し、また情報源に限られる交渉相手国も含まれるため、情報収集に苦労することが多くなりました。今後は、より幅広い人的ネットワークを構築し、多様な情報源にあたるようにする必要があります。

私が専攻する国際政治経済学は、研究対象がとても広い分野です。私の研究はここで紹介

したように日本の貿易交渉が中心ですが、国際政治経済学には、ほかにも金融・開発・環境などが含まれます。授業では、学生が幅広い知識を獲得し、現在の複雑な国際社会を読み解くための道具を提供しています。日々刻々と変化する国際情勢に対して、学生が自分なりの見方と意見を持つための手助けとなるよう取り組んでいます。



日米関係のプロジェクトに参加した時の一コマ。ワシントンの研究者や政策決定関係者から直接話を聞いた。

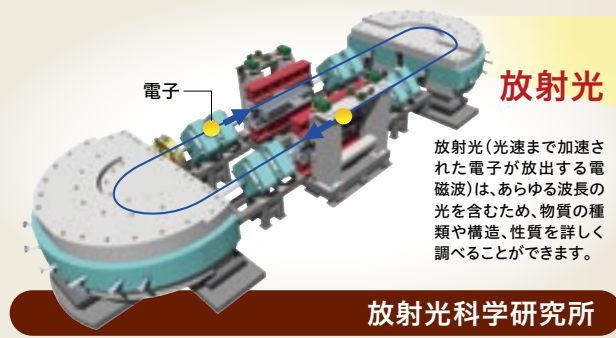
広島大学の研究最前線！

放射光で物質を“見る”。

次世代技術の創出と社会実装を目指す
先端融合研究がスタート！

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」採択

広島大学が擁する「放射光科学研究所」は、国立大学唯一で世界的にも希少な紫外線(UV)領域の放射光実験施設です。本学では、神戸大学をはじめとする国内外の大学や研究機関とともに、放射光によって物質の種類や構造・性質を「見える化」する技術を核とした半導体・超物質・生命科学領域の先端融合研究を進めています。



放射光(光速まで加速された電子が放出する電磁波)は、あらゆる波長の光を含むため、物質の種類や構造、性質を詳しく調べることができます。



クォークとグルーオンの多体系の状態変化の様子。宇宙初期、中性子星などとも関連する。

理学部
大学院先進理工系科学研究科 教授

野中 千穂

NONAKA CHIHO

専門研究分野

原子核物理、ハドロン物理



クォークから宇宙のはじまりを 解き明かす。

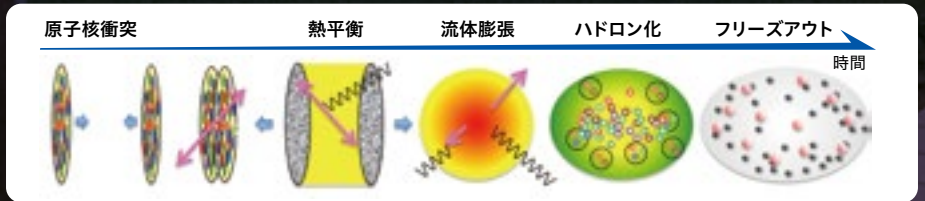
皆 さんは「クォーク」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。現在、クォークは物質の最小構成要素であると考えられています。このクォークとクォーク間の相互作用を担う「グルーオン」は我々の日常世界では陽子や中性子の中に閉じ込められています。ところが、高温・高密度のような極限条件では「閉じ込め」から解放されてクォークやグルーオンが自由に動きまわる「新しい物質」に状態が変化すると考えられています。この新しい物質を「クォーク・グルーオン・プラズマ (Quark Gluon Plasma, QGP)」と呼びます。このQGPは決して仮想的なものではなく、実際には宇宙のはじまりであるビッグバン後10万分の1秒後に存在したと考えられています。さらに驚くべきことには、地球上で人工的にQGPを作り出すことに成功しているのです。

さて、どのようにQGP生成に成功したのでしょうか。これは高エネルギー原子核衝突実験によって成されました。1970年代より一連の原子核衝突実験が行われてきました。そして2000年に米国・ブルックヘブン国立研究所にある衝突型加速器、Relativistic Heavy Ion Collider

(RHIC)が稼働し、2005年にQGPの生成に成功するという結論に至りました。ここでQGPの「発見」ではなく「生成に成功」という言葉に違和感を覚えた方もいるかもしれません。と言いますのも、実は我々はQGPを直接観測することはできないのです。最初に述べたようにクォークやグルーオンは通常は陽子などに閉じ込められています。そのため実験で観測されるのはすべて陽子などのハドロンや光子になります。そこで重要になるのが理論による実験結果の解釈です。つまりQGPの生成を取り入れた理論を構築し、それで実験結果が説明できるかどうかを調べます。当時さまざまな理論が提唱されましたが、特に成功を収めたのが、「相対論的流体模型」と呼ばれる理論でした。この模型によってさまざまな実験

結果の理解に成功し、現在では高エネルギー原子核衝突実験のダイナミクスを記述する標準的な模型になっています。

我々はこの相対論的流体模型を用いた解析をRHIC稼働前から行ってきました。衝突後に生じる粒子を流体で記述するという大胆ともいえるべき模型を本気で行っているグループは世界的に見ても少数派でした。ところがRHICでの成功で一躍注目を集めることになりました。このように研究において何が成功し、何に注目が集まるかはわからないところがあります。研究の難しさであるとともに面白さでもあるでしょう。「知識はすべて実験によって検討される」ということを念頭にさらに研究に邁進したいと思っています。



高エネルギー原子核衝突後の系の時間発展の様子

(背景写真) 2023年11月に滞在したニールス・ボーア研究所は、現代物理学の父、ニールス・ボーアゆかりの研究所

学術的に卓越した先端融合研究

- 半導体産業技術研究所
- 持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点
- PSI GMP 教育研究センター
- ゲノム編集 イノベーションセンター

さまざまな物質を
“見える化”

イノベーション創出

- 半導体製造のグリーン化
- 産学共同研究・共同開発
- 半導体人材育成
- 次世代キラル超物質材料
- 次世代キラル半導体材料
- 産業集積のコンサル
- 次世代生体材料・医療機器
- バイオ医薬品
- 計算技術
- 超伝導物質
- 再生・細胞医療

社会実装加速

まだ存在しない新たな
技術・製品の創出



指導用に手作りしたパネルシアター。むし歯のでき方やむし歯になりにくいおやつ選び方について体験しながら学べる。



将来、小学校教員となる教員養成校の学生を対象とした歯科保健指導の研修会。赴任先の小学校で実践できるようにすることで、州全体への波及効果が期待できる。

歯学部
大学院医系科学研究科 助教

岩本 優子
IWAMOTO YUKO

専門研究分野
小児歯科学、地域歯科保健

すべての子どもたちに、 歯を守る生活習慣と歯科医療を。

初 めて歯みがきをしたのはいつだったか、覚えていますか。物心ついたときには習慣づいていたのでわからない、という方が多いのではないのでしょうか。

私は、小児歯科学を専門とし、歯科保健指導が確立されていない国や地域に、どのように指導方法を普及させるかを研究しています。きっかけは、学部卒業後の研修医時代に参加したカンボジアへの歯科医療支援活動でした。カンボジアでは、歴史的な背景により医療や教育が十分に整っていないことから、歯みがきなど歯を健康に保つ生活習慣が社会に浸透していません。例えば、6歳児の44%が歯みがきをしたことがないという報告もあります。そのため、経済成長による砂糖の消費量増加に伴い、むし歯になる子どもたちが増え続けていました。この課題に対応するため、日本から歯科医師を派遣し、現地の歯科治療や指導を支援することになったのです。

それ以降、何度か活動に参加するうちに運営の中心を担うようになり、より効果的な展開のために研究的な側面からも取り組みを続けていま

す。当初は子どもたちへの直接的な治療・指導が多かったのですが、それは一時的な対処にすぎません。根本的な課題解決を目指して、国や大学の協力の下、現地の小学校教員に歯科保健指導用のツールを提供し、指導方法を研修。その成果を児童の歯科健康診断のデータから統計的にフォローしています。

初めは、カンボジアの文化や社会背景を理解できておらず、子どもたちへの指導もなかなかうまくいきませんでした。例えば、指導に用いる紙芝居に動物のカバを描いたのですが、何の動物かわかってもらえませんでした。彼らは絵本やテレビなどのメディアに触れる機会がなく、動物園にも行ったことがなかったのです。現地の先生方にアドバイスをいただきながら改善し、ようやく子どもたちの理解を深められました。「日本の指導法をそのまま導入するのではなく、現地の文化に寄り添った指導を」という想いは、一時的なパフォーマンスで終わらせず定着を目指すという観点からも、とても大切にしています。

活動は、現地の歯科医療従事者や歯科学学生とも協力して実施し、指導のノウハウを共有してきました。活動主体を少しずつバトンタッチすることで、彼らの手でより多くの指導者を育て、カンボジアの自立した歯科医療や歯科保健教育の構築と、周辺国やさらに広い地域への展開に貢献できると考えています。



室内には電灯がない学校も多いため、太陽光で明るい廊下や屋外にて歯科健康診断を実施しているが、外気温は35℃～40℃になることも。

そして実は、現在の日本国内においても、小児歯科医療の供給には地域格差等の問題点があります。そこで、スマートフォンなどでも撮影可能なお口の写真や、どの医院でも撮影できるレントゲン画像等を利用して、人工知能AIを用いた小児歯科の診断やスクリーニングのシステム作りという研究も始めています。国内外の子どもたちが、住んでいる地域に関わらず利用できるシステムを低コストで実現することで、さらに多くの子どもたちの健康なお口の成長をサポートしたいと願っています。



カンボジアの小学校の教員・児童・保護者の方々と、前列で掲げているのが指導用に作成し、寄贈した紙芝居の一部



カンボジアの歯科学学生等による歯科保健指導。コロナ禍で日本から渡航できなかった期間にも活動を続けることができた。

ネットワーク型研究拠点

広島大学FE^{*}・SDGsネットワーク拠点 Network for Education and Research on Peace and Sustainability

広島大学FE・SDGsネットワーク拠点(NERPS)は、本学に限った組織ではなく、広く世界に開かれたネットワーク拠点であり、次の3つの特徴を持つ教育研究拠点になることを目指しています。

- 1 国際通用性のある研究力に裏づけられた平和・地球環境、SDGsに関する研究拠点
- 2 人文社会科学の研究者も参加する問題解決型教育研究拠点
- 3 個人、NGOs、企業、政府、国際機関など多様なアクターがグローバルに連携する教育研究拠点

11 ※FE:future earth(フューチャーアース)の略。地球環境研究に関わる科学者の国際的なネットワークです。



NERPS
(NERPSロゴ)

SDGs17の目標のうち、「目標4(質の高い教育をみんなに)」、「目標16(平和と公正をすべての人に)」に優先的に取り組み、SDGs全目標に貢献するという姿勢をイメージしたデザインです。

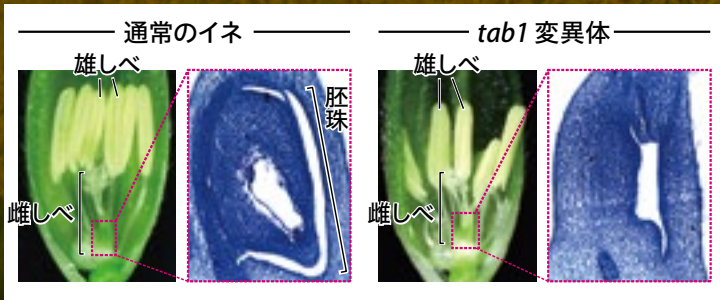




生物生産学部
大学院統合生命科学研究所 准教授

田中 若奈
TANAKA WAKANA

専門研究分野
植物発生学、植物育種学



イネの花と雌しべ内部に存在する胚珠。tab1変異体では、雌しべの形態は一見普通だが、その内部に胚珠ができない。

皆さんは、農作物の収穫量を増やすためにはどのような工夫をすれば良いと思いますか。例えば、作物が病気や害虫に対する抵抗性を獲得することは収穫量を改善するための工夫で、世界中の多くの研究者が取り組んでいるテーマです。最近では、多発している異常気象や気候変動の問題から、環境ストレスに対して耐性を持つ作物の品種改良を目指した研究も盛んに行われています。そしてあまり知られていませんが、農作物の形づくりを改変することも収穫量を増やすための工夫の一つです。

1940年代から1960年代にかけて実施された大規模な農業革命「緑の革命 (Green Revolution)」は、人類の長い歴史の中で、農作物の形づくりの改変が作物収穫量の向上に最も貢献した出来事です。緑の革命以前のコムギやイネの品種は、肥料を与えると茎が伸長し雨風などの影響を受けて倒れやすい特徴がありました。この革命で開発された茎が伸長しない半矮性品種 (やや背丈が低い品種) は、暴風雨などでも倒れにくい性質 (耐倒伏性) を発揮し、結果的にそれら穀物の収穫量の大幅な増産を実現しました。このように、形づくりの改変は作物の品種改良に非常に有用ですが、その改変のためには作物がどのような仕組みで形づくりを

行っているかということを理解する必要があります。

私たちの研究チームは、イネの形づくりを遺伝子の働きから解明することを目指して研究を行っています。研究の特色は、お米の収穫量に直接影響する花や分けつ (イネの枝) などの形づくりに着目している点です。最近私たちは、お米のもとになる「胚珠 (はいしゅ)」を作るために働く遺伝子を発見しました。胚珠は、雌しべの内部に存在し花の外見からは確認することができませんが、雄しべと雌しべが受粉すると種子 (お米) になる重要な花器官です。以前は、胚珠が形成される際にどのような遺伝子が働いているのかということに関する研究はほとんど行われていませんでした。私たちは、種子を形成しない tab1 変異体 (TAB1 遺伝子の機能が失われた突然変異体) を解析し、その変異体では雌しべの内部にあるはずの胚珠が欠失していることを発見しました。つまり、tab1 変異体では正常な胚珠が形成されないため、種子がまったく稔らないということです。詳しい形態・分子レベルでの解析を実施し、イネの TAB1 遺伝子が、正常な胚珠の形成を促し、最終的には種子 (お米) の形成を促進する重要な働きをしていることを明らかにしました。

緑の革命から約60年経過した現在、増え続

ける世界人口により食糧問題は一層深刻化しており、農作物の収穫量増加につながる更なる研究成果が求められています。また、近年の気候変動に対して耐性のある作物を作出することも急務の研究課題です。私は、引き続きイネの形づくりを制御する遺伝子について研究し、その成果を活用することでお米の安定供給や増産に貢献する新しい育種技術を開発したいと考えています。

広島大学には、ほかにも多様な植物分野の研究者が所属しており、それら研究者が参画する研究拠点「次世代を救う 広大発 Green Revolution を創出する植物研究拠点」が設置されています。研究チームの枠を超えて共同研究を行ったり、切磋琢磨しながら研究を推進したりできる素晴らしい環境の下、植物研究を通じて社会に貢献することを目指しています。



広島大学の圃場で研究室の学生と一緒にイネの移植を行っている様子。遺伝子の研究を行っている関係上、イネは個体ごとにバケツに植えて栽培している。

イネの形づくりを理解して お米の安定供給に貢献したい。

(背景写真) 水田栽培のイネ。水田では、実験室ではできない大規模なイネの形質調査や収量調査を行う。

理工系分野の女性大学院生を
対象とした奨学金制度

広島大学女性科学技術
フェローシップ制度



科学技術分野で活躍する意欲のある女性の博士課程後期学生を「理工系女性リサーチフェロー」として採用し、研究専念支援経費 (生活費相当額) と研究費を支給し、研究に専念できる環境を提供します。さらに博士課程後期に進学する意欲を持つ博士課程前期の学生への支援も行い、支援を受けた学生が本学の博士課程後期に進学した場合は、「理工系女性リサーチフェロー」への採用を保証します。



学術・社会連携室オープンイノベーション本部
産学連携部バイオデザイン部門／眼科
特任学術研究員／特命准教授

水野 優

MIZUNO YU

専門研究分野

眼科、糖尿病代謝内科、深層学習

「広島大学ものづくりプラザ」に依頼し、3Dプリンターを用いて試作機を製作



低価格な眼底カメラの開発で、治療可能な失明を防ぐ。

皆さんは、「見る」という機能を持って生まれ、「見る」ことは当たり前だと思って、成長された方が大半だと思います。「見る」機能が土台にあって、知識や経験が加わり「見る」ことが、さらに疑問を持ち、その疑問を解決するために研究をすることで「観る」こととなります。また、私たち医師は、目の前の患者さんの困り事を解決できるように一生懸命にトレーニングをすることで「診る」「看る」ことができるようになります。

土台となる「見る」機能が、無くなってしまふこと(=視覚障害・失明)を想像したことはありませんか。実は、加齢、性別、年収、環境、遺伝などさまざまな影響によって、世界では4人に1人が視覚障害者です。先人たちの弛まぬ努力による医学の発展により、そのうちの半分以上は治療することによって元通りよく見えるようになります。しかし、私が研究している緑内障や糖尿病網膜症といった眼底の病気は、進行を抑える

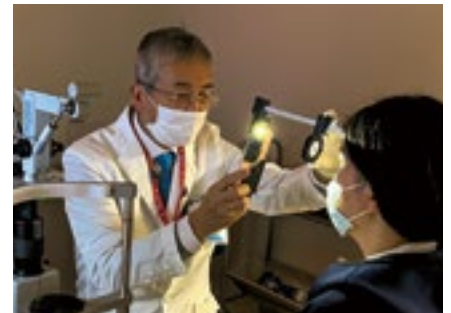


開発中のスマホ眼底カメラ。研究室で開発しただけでは量産化に対応できないため、国内メーカーと共同で、社会実装に向けてさらなる改良が必要となる。

治療法はあるものの、残念ながら、元通りにする治療法はまだありません。ただ、進行する前の早期の段階で治療を開始すれば、より進行を遅らせることができ、失明に至らないことが知られています。

それでは、どうやって早期の段階で治療を開始すればいいのでしょうか。咳と喉の痛みと発熱で病院に行ったら、医師から喉を見られ胸の音を聴かれて、場合によっては長い綿棒を鼻から入れてグリグリするインフルエンザ(と最近ではCOVID-19もでしょうか)の検査をされると。治療の前には、診察と検査が必要です。

広島県は山間部や島嶼部といった自然に恵まれた環境である一方で、実は日本で二番目に無医地区が多く(一番は北海道)、患者さんが気軽に眼科に行きにくい現状があります。そのため、特に「眼科医による診察と検査」に辿り着くのが難しく、末期の状態になって初めて眼科受診される患者さんを多く経験してきました。早期の段階で眼科を受診していただくためには、どうしたらいいかと考えたのが、今の低価格なスマートフォン接続型眼底カメラ(スマホ眼底カメラ)とAIを活用した遠隔眼科診療システムの研究開発でした。眼科に辿り着くのが難しいのであれば、眼科以外の場所で気軽に検査と診断ができればいいのではないかと、というて



自分たちの「眼」を使ってスマホ眼底カメラの実験を行っている。

もシンプルな発想です。

低価格なスマホ眼底カメラ、AIによる診断支援プログラム、遠隔眼科診療システムの開発も、実際には私一人では不可能です。それぞれの分野の第一人者である研究者の先生方や複数の事業会社と共同で研究開発を行っています。広島大学が総合大学であること、また学部同士の垣根が低いことが後押しとなり、医学部や病院の各診療科はもちろんのこと工学部の先生方とチームを組むことで研究開発を進めることができています。

今は、チームで開発した研究成果を一刻も早く社会実装すること、そして持続可能な形で日本だけでなく世界に大きく展開させることを目指してスタートアップの設立準備も行っています。世界中の患者さんが「明るい」生涯を送れるような将来を作っていくことが私たちの目標です。

第一線の研究を支える、

附置研究所

原爆放射線医科学研究所

ゲノム科学などの最先端の基礎研究から、再生医療など高度な臨床展開に至るまで「放射線の人体影響」の総合的な研究を推進しています。被爆者の医療を半世紀にわたって行う一方、放射線災害・医科学領域の研究拠点として、全国の研究者・医師と活発な共同研究を進めています。

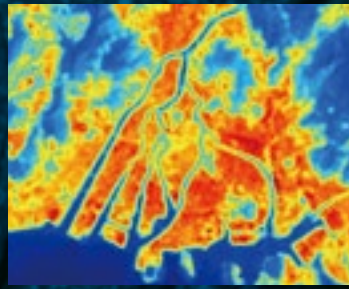


学内共同教育研究施設

- 半導体産業技術研究所
- 高等教育研究開発センター
- 情報メディア教育研究センター
- 自然科学研究支援開発センター
- 森戸国際高等教育学院
- 保健管理センター
- 平和センター
- 環境安全センター
- 総合博物館
- 宇宙科学センター
- 外国語教育研究センター
- 文書館
- スポーツセンター
- HiSIM®研究センター



藻場の地図を作るための観測気球による水面撮影実験(図1)



広島市の衛星写真(背景)と温度画像(上)。太田川とその支流からなるデルタ市街地の温度が高いことがわかる。



衛星からサンゴ礁の地図を作るための水族館水槽での室内実験(図2)



衛星が計測する海の色や温度の精度を検証するための船舶現地調査(図3)



工学部
大学院先進理工系科学研究科 教授

作野 裕司
SAKUNO YUJI

専門研究分野
水環境リモートセンシング

衛星・ドローン・気球から 海や湖の健康診断をしたい!

皆さんは「リモートセンシング」という言葉を聞いたことがありますか。リモートセンシングとは、日本語で「非接触計測」という意味で、よく「リモセン」と略されます。簡単に言うと、衛星、ドローン、気球などにカメラをつけて、地上の物体を撮影し、地図化することを言います。私の専門は、リモセンの中でも「海や湖」などの水環境を対象としています。最近では、地球温暖化によって水温が上がったり、水位が上昇したりして、漁業や生活に支障をきたす問題も多く、リモセンによる健康診断が期待されています。

私がこの研究に出会ったのは大学生の時に、「シジミ」で有名な島根県の宍道湖を対象として、「シジミが息をする湖岸部だけが水がきれい(濁っていない)」という仮説を衛星データで証明してくれないか」と指導教員の先生に言われたことでした。この事実は嘘のような本当の話で、シジミは水中に含まれる懸濁物質をろ過し

て、栄養を取って生きているので、シジミが息をしている湖底より上層部は、濁りがなくなつて水が澄む傾向にあるのです。では、どのような原理でこの濁り(正体は葉緑素)の分布を測るのでしょうか。実は、衛星の中には葉緑素を専門に計る海色センサーがあります。葉緑素は可視光の青と赤の光を吸収し、緑の光だけが残る性質を持ちますのでこの吸収の度合いを測ることで衛星から葉緑素の大きさを観測することができます。ただし、この海色センサーは、たいいてい解像度が1km程度ですから、宍道湖のように20km×5kmくらいの湖で、しかもシジミが息している湖岸はせいぜい1km程度ですので、ほぼ画像では表現できないという欠点がありました。そこで、私は主にフランスのSPOTと呼ばれる解像度が20mの衛星画像を使って、宍道湖の葉緑素を測る方法を考案して、博士号を取得しました。そして、シジミが息をする水域は、日常的ではないものの平均的には「きれいであ

る」(濁っていない)ことが判明しました。このような経験を経て、すっかり「リモセン」に魅了された私は、大学教員になってからも、リモセン技術を使って海や湖の環境を地図化する研究に没頭しました。そして、今は衛星・ドローン・気球(図1)等を使って「葉緑素」だけでなく、サンゴ礁(図2)や藻場の地図化も研究の対象となっています。研究の最後には必ず、船に乗って検証する必要があるため、私の研究室では図3のような船舶観測が日常的に行われています。幸い、広島大学には、気軽に利用することができる調査船や協力してくれるたくさんの研究室がありますので、共同で新しい研究をどんどん生み出しています。このように衛星リモセンという最先端の技術を使いながら、船舶調査もするというリアリティが評判で、この分野の教育や研究は学生から大変人気が高いです。水環境の測定や診断に興味を持つ学生たちとともに、今後も研究に励みたいと考えています。

特色ある研究施設・拠点

- 両生類研究センター
- トランスレーショナルリサーチセンター
- 防災・減災研究センター
- 脳・こころ・感性科学研究センター
- ゲノム編集イノベーションセンター
- デジタルものづくり教育研究センター
- AI・データイノベーション教育研究センター
- IDEC国際連携機構
- A-ESG科学技術研究センター
- Town & Gown未来イノベーション研究所
- PSI GMP教育研究センター
- ダイバーシティ&インクルージョン推進機構
- 瀬戸内CN国際共同研究センター
- グローバルキャンパス推進機構

※HISIM(Hiroshima-University STARC IGFET Model)は、広島大学が半導体理工学研究センター(STARC)と共同で開発した回路設計用トランジスタモデル

全国共同利用施設

放射光科学研究所

光速に近い電子が電磁石によって進む方向を変える時に「放射光」が発生します。この光は強力で、しかもさまざまな波長を含むことから「夢の光」と呼ばれています。本研究所の研究成果は『Nature』や『Science』などのトップジャーナルに掲載されています。



学生の意欲に応える

学部教育

多彩な学部を擁し、
幅広い教養と専門分野の知識を身につける

学士課程教育

- 総合科学部
- 文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 薬学部
- 工学部
- 生物生産学部
- 情報科学部
- 特別支援教育
特別専攻科

HiPROSPECTS®

広島大学独自の教育システム
「到達目標型教育プログラム」

ハイプロスペクツ ※HiPROSPECTS(Hiroshima University Program of Specified Education and Study)は広島大学の登録商標です。

興味・関心に合わせて学べる 3つのプログラムで編成

入学した学部・学科の「主専攻プログラム」、ほかの主専攻プログラムの概要も学習できる「副専攻プログラム」、特定分野の学習や資格取得を目指す「特定プログラム」を組み合わせ、自らの興味・関心に応じて学ぶことができます。

それぞれのプログラムで 到達すべき目標が見える

プログラムごとに卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として学生に明示し、定期的に到達度を確認します。目標を見据え、一人一人が着実に力をつけることができます。

主専攻プログラム

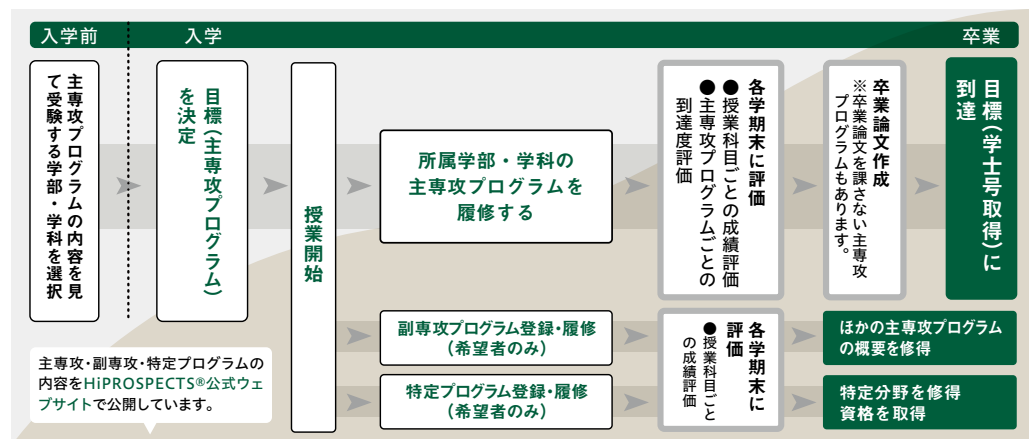
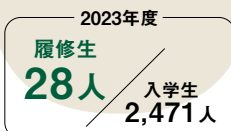
卒業時に学士号を取得

副専攻プログラム

ほかの主専攻プログラムの概要を学習する

特定プログラム

特定分野の学習や資格取得を目指す

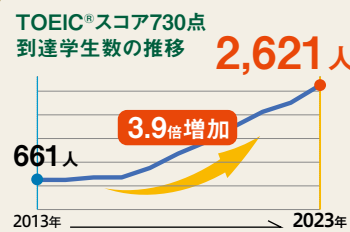


<https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog>

TOEIC® L&R IPテスト

社会的・国際的に通用するスコアで英語力を把握

入学時と3年次以降(具体的な時期は所属により異なる)の2回、全学一斉に実施します。社会的、国際的に広く通用するスコアを使って、学生が自らの英語運用能力を確認することができます。本テストのスコアは本学英語教育のさらなる改善にも活用しています。



大学教育基礎科目

大学で知的活動を行うための能力を育む

4つの科目区分(平和科目・大学教育基礎科目・共通科目・基盤科目)からなる教養教育のうち、大学教育基礎科目では大学での学び方を修得します。全学必修である教養ゼミ、大学教育入門では、大学における知的活動の基礎を身につけます。2023年度から選択科目として新設した展開ゼミでは、自ら問題を発見し、解決する能力を養います。

教育システム

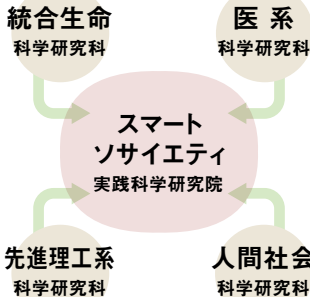
大学院教育

学際的・融合的な研究を通して、異なる専門分野への理解と複合的な視点を備える

博士課程教育

- 人間社会科学研究科
- 先進理工系科学研究科
- 統合生命科学研究科
- 医系科学研究科
- スマートソサイエティ実践科学研究院

4研究科の分野を横断的に学べる研究院を設置しました。異なる研究領域を学ぶことで視野を広げ、専門領域の研究をより深めることにつながっています。



スマートソサイエティ実践科学研究院 (2023年4月開設)

大学院共通科目

現代社会で活躍するための基礎知識を獲得

広い視野と社会への関心や問題意識を養成し、それぞれの専門分野が「持続可能な発展を導く科学」としてどのような貢献が可能であるかの考察を深め、最近の社会システムの進展を正しく把握し、現代社会で活躍するための基本的な知識を身につけるために「大学院共通科目」を提供しています。

● 持続可能な発展科目

国際的目標である持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)を理解し、持続可能な発展を導く科学を創出する能力および社会のさまざまな課題を解決する能力を身につけます。

● キャリア開発・データリテラシー科目

最近の社会システムの進展を知り、これからの時代に必須な知識を修得し、現代社会の課題に具体的に取り組み、解決に必要な知識・技術を使うことができる能力を身につけます。

卓越大学院プログラム

授業料免除
奨学金(月額5万円)

社会にイノベーションをもたらす博士人材を育成

- ゲノム編集先端人材育成プログラム(平成30年度 文部科学省採択) (※57人)

研究科を横断する2コースによるゲノム編集を使いこなせる人材・ゲノム編集を産業に直結させる人材を育成

- ライフサイエンスコース(5年制) ● メディカルコース(4年制)

※登録学生数

博士課程リーダー育成プログラム

授業料免除
奨学金(月額5万円)

グローバルに行動する、次代のリーダーを養成

- 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム(平成23年度 文部科学省採択) (※12人)

研究科を横断する3コースによる放射線災害復興専門家の養成

- 放射線災害医療コース(4年制) ● 放射能環境保全コース(5年制) ● 放射能社会復興コース(5年制)

- たおやかで平和な共生社会創生プログラム(平成25年度 文部科学省採択(令和5年度以降学生募集を停止)) (※12人)

研究科を横断する3コースによるオンサイト・リバースイノベーションを推進するリーダーの養成

- 文化創生コース(5年制) ● 技術創生コース(5年制) ● 社会実装コース(5年制)

※登録学生数

大学院生支援プロジェクト

研究に対する意欲を有し、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の重要な担い手となる博士課程後期進学者をサポートするため、以下の支援制度があります。

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム

博士課程後期学生 **379人** を支援

支援額

研究専念支援金 **19万円/月** + 研究費 **40万円/年**
さらに、「IHU SPRING」が実施する取組において、優秀な成果・成績を挙げた場合は、**HU-SPRING Award(12万円/年)**を研究専念支援金として追加支給。

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

令和6(2024)年度より、博士課程後期学生を1年間に**7人**(3年間で**21人**)支援

支援額

研究専念支援金 **25万円/月** + 研究費 **90万円/年**

広島大学女性科学技術フェロウシップ制度

博士課程後期学生 **12人**、博士課程前期学生 **4人** の計 **16人** を支援

- 理工系女性リサーチフェロー(D1~D3)

支援額

研究専念支援金 **19万円/月** + 研究費 **40万円/年**
さらに、「IHU SPRING」が実施する取組において、優秀な成果・成績を挙げた場合は、**HU-SPRING Award(12万円/年)**を研究専念支援金として追加支給。

- 理工系女性M2奨学生(M2)

支援額

研究専念支援金 **9万円/月** + 研究費 **24万円/年**

世界をキャン

International

ヨーロッパへ
137人
ヨーロッパから
56人

- イタリア
- クロアチア
- フランス
- ウクライナ
- スイス
- ブルガリア
- ウズベキスタン
- スペイン
- ポーランド
- 英国
- タジキスタン
- マルタ
- エストニア
- チェコ
- ラトビア
- オーストリア
- ドイツ
- リトアニア
- カザフスタン
- ハンガリー
- ルーマニア
- キルギス
- フィンランド
- ロシア

アフリカへ
4人
アフリカから
116人

- ウガンダ
- エジプト
- エチオピア
- ガーナ
- カーボベルテ
- カメルーン
- ガンビア
- ギニアビサウ
- ケニア
- コートジボワール
- コンゴ民主共和国
- ザンビア
- ジブチ
- ジンバブエ
- セーシェル
- セネガル
- タンザニア
- チュニジア
- ナイジェリア
- ナミビア
- ボツワナ
- マダガスカル
- マラウイ
- 南スーダン
- モーリシャス
- モザンビーク
- モロッコ
- ルワンダ
- レソト

中東へ
3人
中東から
38人

- アフガニスタン
- イエメン
- イスラエル
- イラク
- イラン
- オマーン
- クウェート
- サウジアラビア
- シリア
- パレスチナ

アジアへ
387人
アジアから
1,683人

- インド
- インドネシア
- 韓国
- カンボジア
- シンガポール
- スリランカ
- タイ
- 台湾
- 中国
- ネパール
- パキスタン
- バングラデシュ
- 東ティモール
- フィリピン
- ブータン
- ベトナム
- 香港
- マレーシア
- ミャンマー
- モンゴル
- ラオス

広大から世界へ

世界44カ国・地域へ845人を派遣(コロナ禍以前の実績)

多文化社会を学ぶ
都市開発学と
HUSAでオーストラリアへ



都市開発学を学ぶために、学部内のプログラムが充実しているUNSWへの留学を決意。大学では授業での発言や話し合いに積極的に挑戦しました。また現地ですぐに出会った多様な国々の友人との旅行やイベント参加など、さまざまな経験ができました。留学前の不安は、自分から挑戦することで自信に変わりました。留学で得た学びを活かし、3年次からはフードバンクの運営などの地域活動に取り組んでいきたいと考えています。

総合科学部国際共創学科 3年次生 木村 蒼唯

HUSAでアメリカへ
医用生体工学を学ぶために



アメリカ・ネバダ大学での半年間の留学は、専門分野の深化だけでなく、寮で築いた深い友情や異なる国の人々との交流が充実した時間でした。現地学生とのグループワークや専門実験を通じて実践的なスキルを磨き、時には友人とLA等に旅行に行くなど、多角的な視点からの学びや経験を共有することができました。得た自信を胸に、留学で培った主体性を活かして、将来の目標に向かってさらなる成長を遂げたいと考えています。

工学部第二類電気電子・システム情報系 4年次生 松原 正裕

パスに学ぶ

広島大学は、世界をキャンパスとする国際的な教育・研究拠点として、世界各地の教育研究機関と交流協定を締結しています。世界中から多数の学生が広島大学に集い、また広島の地から広く世界へ、多くの学生を派遣しています。

国際交流協定

(令和6年5月1日現在)

大学間

56カ国・地域 369機関と 413協定

部局間

55カ国・地域 378機関と 423協定

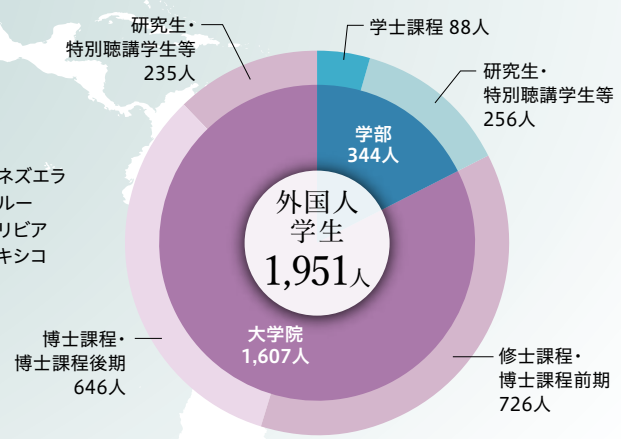
海外拠点

(令和6年5月1日現在)

14カ国・地域 22拠点



- オーストラリア
- キリバス
- ソロモン諸島
- ニュージーランド
- パプアニューギニア
- フィジー
- アルゼンチン
- エクアドル
- エルサルバドル
- キューバ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- チリ
- ドミニカ共和国
- ニカラグア
- パナマ
- ブラジル
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- メキシコ



世界から広大へ

世界94カ国・地域から1,951人を受入 (令和5年11月1日現在)

インドネシアから広大へ
母国と日本の架け橋を目指し
IGSで学ぶ



天文学の研究を志し
中国から広大へ
研究の傍ら留学生の
サポートにも携わる



IGS(総合科学部国際共創学科)は、日本人学生と外国人留学生がともに学ぶ中で、多角的な視点を得られる素晴らしい場所。留学生へのサポート制度も充実しています。また、東広島キャンパスは自然が豊かで、のびのびと学べます。広島大学での学びは、広島の歴史的背景を考え、国際平和をより深く考えるきっかけにもなりました。日本とインドネシアの架け橋になることが私の目標の一つ。双方の視点から考えることを大切にしています。

総合科学部国際共創学科 3年次生

YUGHIE JUNIOR ALVADIVIA (インドネシア)

私は天文学の研究に携わっています。広島大学では天文学の研究が非常に幅広く、充実しています。異文化の中での生活に最初は戸惑いましたが、研究室の先生や友人たちの温かい支援によって乗り越えることができました。そして私も他の人々を支援したいと考え、学生プラザで留学生サポートを提供するなど、支え合いの一翼を担っています。広島大学での日々は、私にとって忘れられない貴重な経験となりました。

先進理工系科学研究科 博士課程後期 物理学専攻 3年次生

楊冲 (中国)

学部・研究科ごとに教育目的や目標に沿ったアドミッション・ポリシーを掲げ、一般選抜のほか、個々の意欲や個性を尊重した広島大学光り輝き入試などを実施します。

求める学生像／広島大学のアドミッション・ポリシー(学士課程)

広島大学は、次のような人の入学を期待します。

- 1 豊かな心を持ち平和に貢献したい人
- 3 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 2 知の探究・創造・発展に意欲のある人
- 4 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科などでは、これらの人を受け入れるため、それぞれのディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能・思考力・判断力・表現力や、主体性を持ち多様な人々と協同しながら学習する態度と関連づけて明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

学部入試方式

高校生から社会人・中高年層まで、多くの人に広く門戸を開いています。

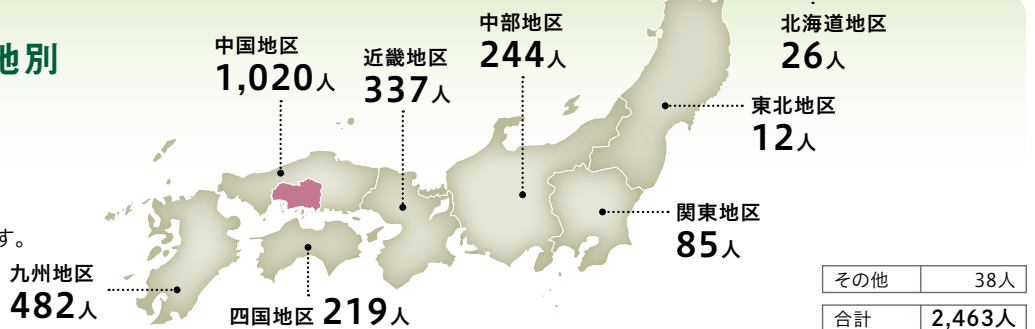
各入試方式名称の右にある人数は、令和4～6年度の平均入学者数です。



出身高等学校所在地別学部入学者状況

(令和6年度)

全国各地から、確かな学力と豊かな個性を持った学生が集まります。



国費・政府派遣等留学生を含みます。

修学・生活・進路・経済面において、学生のニーズに応える支援体制の充実を図り、学生一人一人が実りあるキャンパスライフを送るためのさまざまなアプローチを用意しています。

キャリア支援

学部生から大学院生、若手研究者に至るまで、一貫したキャリア支援を目指し、多様なサポート制度を設けています。

1年次生から活用できる進路・職業選択支援プログラム

- 学部1年生の必修科目「大学教育入門」での講義
- キャリアガイダンス(教養ゼミ)
- キャリア教育科目
- キャリア相談・就職相談
- インターンシップ
- 大学運営支援業務の紹介

就職活動準備中の学生への就活支援プログラム

- 就職ガイダンス、セミナー
- 就職相談・就職相談
- 就活支援ツアー
- 学生情報の森「もみじ」および「ウェブサイト」などによる情報提供
- 就活ハンドブック配布

若手研究人材養成支援プログラム

- キャリアおよび能力開発のためのプログラム提供
- 博士学生のためのキャリア相談・マッチング支援
- ITシステム「若手研究者ポートフォリオ(HIRAKU-PF)」による支援

グローバルキャリアデザインセンター

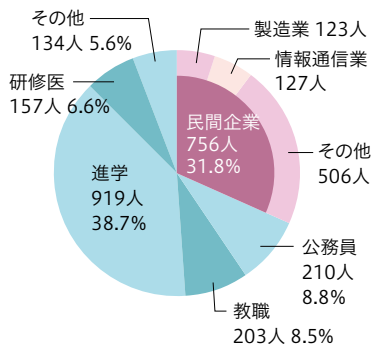
民間企業での人事・採用・教育・海外業務キャリアを持つ教員やキャリア相談員などのスタッフが、各学部・研究科などと連携を図りながら、留学生を含むすべての学生、若手研究者のキャリアデザインや就職活動を総合的にサポートします。



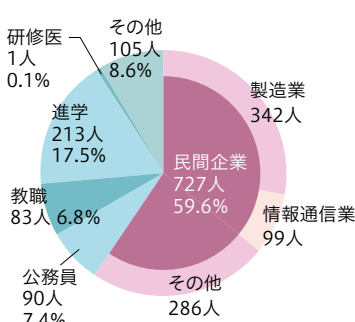
就職状況

(令和5年度 学部卒業生数2,379人/大学院修了者数1,219人) ※修士課程、博士課程前期修了者

学部



大学院



主な就職先

●企業

マツダ、トヨタ自動車、西日本電信電話、広島銀行、九州電力、日立製作所、中国電力、パナソニック、NTTドコモ、クボタ、三菱重工、日東電工、ソフトバンク、TOTO、ダイキン工業、シャープ、三井住友信託銀行、本田技研工業、西日本旅客鉄道、NECソリューションイノベータ

●公務員

広島県、広島市、国税庁広島国税局、東広島市、国土交通省、厚生労働省、農林水産省

●教員

広島県教育委員会、広島市教育委員会、愛媛県教育委員会、兵庫県教育委員会、島根県教育委員会

修学・生活支援

チューター制

学生一人一人を担当する教員(チューター)を学科・コースごとに複数配置し、入学時から卒業まで、学習や生活の悩みなど、大学生活全般に関するサポートを行います。

教育学習支援センター

「教育・学習に関する相談窓口」を設置し、日頃の学修で悩んでいることや教養教育の各分野(数学、物理、化学、英語)に関する学習の方法などについて学生スタッフ(大学院生)が相談に応じています。そのほか、新入生や編入生を対象とした広大トークシェアという交流イベントなども企画しています。

ピアサポートルーム

学生による学生のための相談室です。専門のカウンセラーから指導を受けた学生が学生(ピア)の大学生活上の疑問や悩みについて秘密厳守でじっくりと話を聴きます。必要に応じて学内外の専門機関の紹介も行います。

アクセシビリティセンター

身体などに障害がある学生の修学サポート、アクセシビリティ(利用しやすさ、参加しやすさ)に関する助言、人材育成を行っています。平成18年より、「アクセシビリティリーダー育成プログラム」を日本で初めてスタート。令和5年度までに本学を含む全国27大学、4企業、2行政から4,291人のアクセシビリティリーダーが誕生しました。

保健管理センター

応急処置や内科医による診察と健康相談、精神科医による診察と相談、臨床心理士による心の相談を行います。

経済支援

■ 広島大学独自の制度

1. 学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学や修学が困難な人を支援するための制度

- 広島大学フェニックス奨学制度
- 広島大学光り輝く奨学制度
- 広島大学未来応援HIZUKI奨学制度

2. 成績優秀な大学院生に授業料支援を行う制度

- 広島大学エクセレントスチューデントスカラシップ

■ 国の制度

(令和2年度から開始、主に日本人学部生を対象とした制度)

- 高等教育の修学支援新制度(給付奨学金+入学料・授業料減免)

※各制度には、対象条件があります。

社会に開かれ、 地域とともに発展する 大学へ



電波暗室



振動カメラ



電波暗室

広島中央サイエンスパークに 「広島大学デジタルものづくり イノベーション拠点」が竣工

2024年2月に竣工した「広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点」は、カーボンニュートラルに向けた研究開発を行うエリアのほか、企業との共同研究スペース、大学発ベンチャー等のインキュベーションスペース、異業種間のネットワークハブ機能を担うオープンイノベーションホールや共用会議室などを備えた複合施設で、本学教職員・学生はもとより、地域企業の皆様にも広く活用いただけます。



広島大学デジタルものづくり イノベーション拠点

〒739-0046 広島市鏡山三丁目10番31号
(広島中央サイエンスパーク内)
TEL 082-430-8513

詳しい情報はこちらから!

<https://hudmerc.hiroshima-u.ac.jp/> >>



ビジネス作り体験 ワークショップイベントを開催

2024年2月4日、「HAX Tokyo」プログラムディレクターの岡島康憲氏をお招きし、GCS広島ジャンプステージ*の高校生を対象とするビジネス作り体験ワークショップを開催しました。テーマ設定からチーム作り、ビジネスモデル構築、プレゼンテーションまで、ビジネス作りの過程を実践的に学ぶ有意義な機会となりました。



*GCS(グローバルサイエンスキャンパス)広島は、科学に興味を持つ高校生を対象に、最先端の理科系の講義や実習、研究開発に触れる機会を提供するプログラムで、ホップ・ステップ・ジャンプの3段階の教育プログラムがあります。



体験型健康セミナー 「エクオールってなに?」を開催

エクオールとは、大豆イソフラボンが腸内細菌によって代謝され生み出される物質で、体内で女性ホルモンと似た働きをするため、性別・年代問わずさまざまな健康効果が期待される物質です。人によって差のあるエクオール生成力を個別に測定し、エクオールについて学ぶイベントが2024年5月29日、京セラ株式会社の企画で開催されました。参加者が自身の測定結果をもとに学べるため、「自分に何が必要かを把握しやすい」と好評を博しました。

地域連携フロア SENDA LAB

〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号
(広島大学東千田キャンパス総合校舎L棟5階)
TEL 082-542-7305

詳しい情報はこちらから!

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/sendalab> >>





広島大学産学官連携 TOPIC 1

広島大学発の産業創出にご期待ください!

スタートアップ企業創出を強力に推進

詳しい情報ははこちらから!

<https://www.sukijyaken.jp/psi>



～伝えることの大切さと難しさ～

自分の想いを正確に伝え、他者から共感を得る難しさを体験できる貴重な機会になりました。



1件30万円程度の活動経費を支援

2022年度 申請 17件 採択 10件

2023年度 申請 19件 採択 10件

●Peace & Science Innovation Ecosystem (PSI)

「Peace & Science Innovation Ecosystem : PSI」は、「平和を希求する精神のもと、世界にイノベーションを生み出す」ことをビジョンとしたスタートアップ・エコシステムで、広島大学をはじめとして中四国9県16大学が参加しています。PSIは、10年後には「世界中からスタートアップや支援者が結集し、平和を希求しながら世界にイノベーションを生み出すグローバルエコシステムの一つとなる」ことを目指しています。この目標を達成するため、研究と事業化とのギャップを埋めるための資金支援(GAPファンド)、支援人材の拡充、起業環境の整備、グローバル拠点の構築、Demo Day(関係者向けピッチ会)などを行っています。

●東広島市・学生発スタートアップチャレンジ

日常生活や授業から生まれた、学生の自由で創造的なアイデアや起業意識を具体化するための取組として、2021年度から東広島市と広島大学が支援する「東広島市・学生発スタートアップチャレンジ」を実施しています。本事業では学生チームに対し、活動経費支援のほか、本学教職員やベンチャーキャピタルの助言・協力の無償提供によって、事業化を目指す学生を支援しています。2023年度は広島大学8チーム、近畿大学2チームの計10チームの活動を支援しました。これまでに支援を受けた学生チームから、ベンチャー企業を起業した事例も出てきています。

【ベンチャー企業設立実績】株式会社WEAVE(2022年10月設立):ノーコードツールコンサルティング事業、SNS運用支援事業

広島大学産学官連携 TOPIC 2

産学官のさらなる連携強化を目指します!

デジタルツールを活用した産学官連携を推進

詳しい情報ははこちらから!

<https://www.sukijyaken.jp/>



広島大学は多種多様な企業などとの連携をさらに深めるため、2022年10月に、次世代型DXコンソーシアム「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」を構築しました。デジタルツールを徹底的に活用することによって、これまで以上に迅速かつ効率的に企業などのニーズを把握し、連携を強化していきます。98の参画機関(2024年3月末現在)とともに、産学官連携をさらに盛り上げていきます。

広島大学の産学官連携から生まれた商品

●ラクレッシュEX 薬用液体ハミガキ

ジェクス株式会社との連携により生まれた、乳酸菌を配合した新感覚のオーラルケアです。広島大学の二川浩樹教授が、歯周病菌やむし歯菌を研究して発見した、L8020(エルハチマルニーマル)乳酸菌は、健康な人のお口の中にある乳酸菌です。このL8020乳酸菌を使用した「ラクレッシュEX薬用液体ハミガキ」は、歯の隙間に行き渡る独自のとろみ処方です。歯周病の予防に効果があり、知覚過敏の方にもお使いいただけます。



広島駅に隣接するビルにある「広島大学きてみんさいラボ」では、広島大学の産学官連携活動から誕生した商品や、広島大学グッズも販売しています。ぜひ気軽に手に取ってみてください。

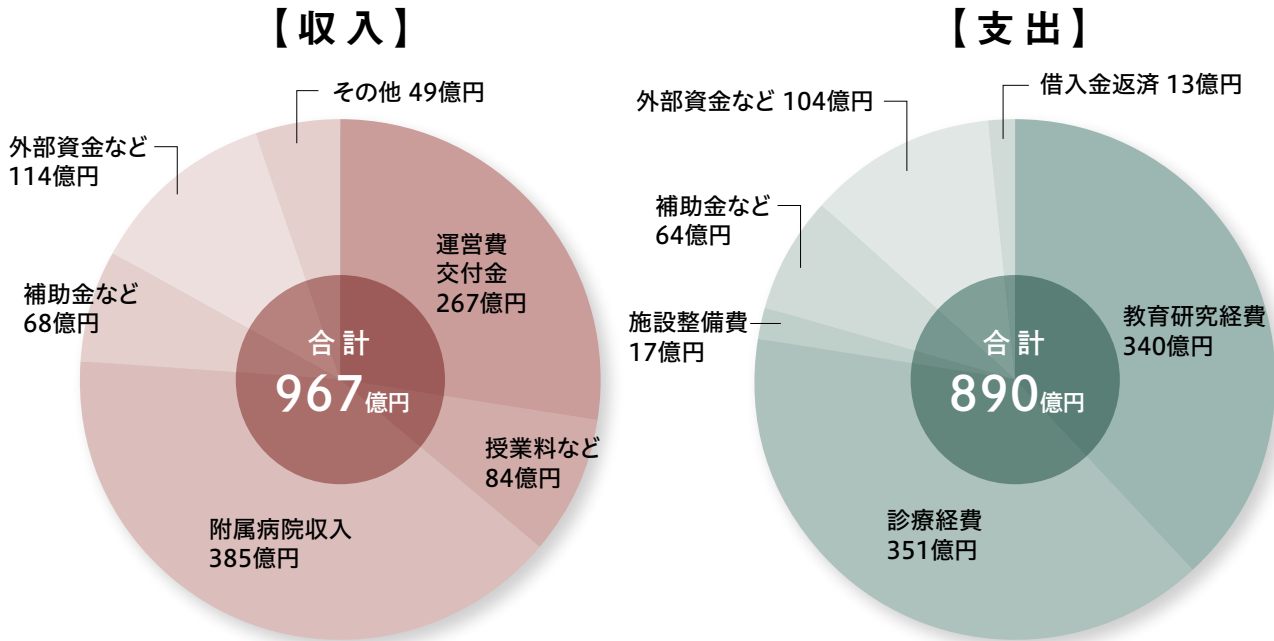
●マイ・フローラ

野村乳酸株式会社と広島大学の杉山政則教授との連携から生まれた「腸活ドリンク」です。生きたまま腸に届く植物乳酸菌「ラクトバチルスプラントルム」が腸内フローラのバランスを安定させるので、1日1杯で“おなかスッキリ”を実感できます。ヒト臨床試験済みで、自信を持っておすすめできる商品です。



教育・研究活動のさらなる発展を見据え、国から交付される運営費交付金や授業料などを効率的に活用しています。また、各種基金を設立し、学生支援事業などに活用しています。

広島大学の収支状況(令和5年度)



※表示単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合があります。

基金

広島大学では、経済的な理由を抱える学力優秀者への修学支援や、外国人学生・日本人学生の留学支援などを目的に寄付金制度を設立し、各種事業を展開しています。法人・個人とも寄付金額に応じた税制上の優遇措置があります。また、一定額以上のご寄付をいただいた方のご厚意に対して、顕彰や記念品をご用意しています。

「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」

(広島大学75+75周年に向けて)による寄付募集を行っています。

白鳥学校創立以来、75年の前史を経て開学した広島大学は、2024年に創立75周年の節目を迎えました。周年に向けた取組として、これまで、法学部の東千田キャンパス移転をはじめとしたキャンパス拠点化を進めており、今後もワクチン・医薬品製造拠点整備といった広島の地にイノベーションを創出させる事業を予定しています。また、従来の学生支援事業や国際交流事業に加えて社会貢献事業、教育研究環境整備事業、研究支援事業の支援も充実させていきます。皆様のご支援をお願い申し上げます。

広島大学基金 (平成19年度創設)

世界トップ100の総合研究大学を目指し、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、学生支援事業、研究支援事業を実施しています。

用途① 広島大学フェニックス奨学制度・広島大学光り輝く奨学制度

経済的理由で進学・修学継続が困難な学力優秀者に月額10万円を給付する、本学独自の奨学制度です。

採用者数
(平成20～令和6年度)
245人

用途② ^{プラス}STARTプログラム・START+プログラム

STARTプログラムでは海外経験の少ない学部1年次生を、START+プログラムでは学生のより自律的な学習を重視し学部2年次生、3年次生を対象に、海外研修に参加する学生の渡航費や滞在費の一部を支援します。

派遣者数
(平成22～令和5年度)
1,971人

用途③ 大学院学生のための国際学会発表支援

海外で行われる国際学会で発表する機会を増やすことにより、学生による研究活動の活性化を促進します。

派遣者数
(平成23～令和5年度)
2,062人

広島大学冠事業基金

(平成27年度創設)

ご寄付をいただいた方のご芳名などを冠して、世界をキャンパスとして展開するために留学生・日本人学生を支援する事業を実施しています。

用途① 外国人留学生への奨学金

外国人留学生を数多く受け入れ、グローバルキャンパスを実現するために、渡日前に奨学金の受給が決定する広島大学入学前奨学制度を設けています。

用途② 日本人学生の海外留学支援金

グローバルに活躍できる「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、日本人学生の海外留学の支援金制度です。

広島大学では、世界のトップ研究者による講演やディスカッション、さまざまな分野で活躍中のリーダーによる講義など、学生の意欲を刺激する場を多彩に設けています。

広島大学から世界へ ～世界のトップ研究者に聞く～

ノーベル賞受賞者を中心に世界の最先端を行く研究者をお招きし、講演やディスカッションを継続的に開催しています。未来の科学者を目指す学生たちにとって、世界を驚かせた発見や研究を間近に体感できる貴重な機会となっています。

 <p>●第1回「知のフォーラム」(2016年3月7日) ジョン・ガードン 博士 英国ケンブリッジ大学ウエルカムトラスト英国癌研究基金 ガードン研究所教授</p> <p>2012年 ノーベル 生理学・医学賞</p>	 <p>●広島大学情報科学部・総合科学部国際共創学科 設置記念講演会(2018年5月16日)</p> <p>大隅 良典 博士 東京工業大学科学技術創成研究院名誉教授</p> <p>2016年 ノーベル 生理学・医学賞</p>
 <p>●第1回「知のフォーラム」(2016年3月7日)</p> <p>山中 伸弥 博士 京都大学IPS細胞研究所長</p> <p>2012年 ノーベル 生理学・医学賞</p>	 <p>●第4回「知のフォーラム」(2019年3月11日)</p> <p>天野 浩 博士 名古屋大学未来材料・システム研究所教授</p> <p>2014年 ノーベル 物理学賞</p>
 <p>●第2回「知のフォーラム」(2016年11月29日)</p> <p>梶田 隆章 博士 東京大学宇宙線研究所長・東京大学特別栄誉教授</p> <p>2015年 ノーベル 物理学賞</p>	 <p>●広島大学大学院統合生命科学研究所・大学院医系 科学研究科設置記念講演会(2019年7月20日)</p> <p>本庶 佑 博士 京都大学高等研究院副院長・特別教授</p> <p>2018年 ノーベル 生理学・医学賞</p>
 <p>●第3回「知のフォーラム」(2017年4月5日) ●知のフォーラム in Tokyo(2019年1月9日)</p> <p>ポール・ナース 博士 英国フランス・クリック研究所長 Source: Fiona Hanson / AP Images</p> <p>2001年 ノーベル 生理学・医学賞</p>	 <p>●広島大学大学院人間社会科学研究所・大学院先進 理工系科学研究科設置記念講演会(2020年7月2日)</p> <p>吉野 彰 博士 旭化成株式会社名誉フェロー</p> <p>2019年 ノーベル 化学賞</p>
<p>●第86回広島大学講演会(2018年3月27日)</p> <p>ムハマド・ユヌス 博士 グラミン銀行(バングラデシュ)創立者</p> <p>2006年 ノーベル 平和賞</p>	 <p>●第5回「知のフォーラム」(2021年9月25日)</p> <p>ハーベイ・オルター 博士 アメリカ国立衛生研究所名誉研究員 © Nobel Prize Outreach. Photo: Joy Asico</p> <p>2020年 ノーベル 生理学・医学賞</p>

世界に羽ばたく。教養の力 ～世界で活躍するリーダーに学ぶ～

教養教育の一環としてスポーツ・芸術・科学・ビジネスなど各界で活躍中のリーダーを講師としてお招きし、学部新入生を主な対象とする講義を開講しています。各界のトップに立って活躍する講師たちの視点や歩みに触れ、大学生活の目標や将来の夢を考えるスペシャル講義です。

《 2017～2024年度の主な講師 》 (五十音順、所属先、役職名などは、講義日時点のものです。)

 <p>五百旗頭 真氏 ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長 政治学者・歴史学者(2024年3月6日ご逝去)</p>	 <p>小泉 悠氏 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授</p>	 <p>堀川 恵子氏 ノンフィクション作家 広島大学総合科学部卒業 Keiko Horikawa©MAL</p>
 <p>池上 彰氏 フリージャーナリスト</p>	 <p>佃 和夫氏 三菱重工工業株式会社 相談役</p>	 <p>三山 秀昭氏 広島テレビ放送株式会社 顧問</p>
 <p>池谷 裕二氏 東京大学 大学院薬学系研究科 教授</p>	 <p>中丸 三千繪氏 オペラ歌手 (マリア・カラス・コンクール優勝)</p>	 <p>モーリー・ロバートソン氏 国際ジャーナリスト</p>
 <p>伊東 豊雄氏 建築家</p>	 <p>二宮 清純氏 スポーツジャーナリスト</p>	 <p>茂木 健一郎氏 脳科学者</p>
 <p>井上 康生氏 全日本柔道男子 監督</p>	 <p>野村 謙二郎氏 野球評論家 広島東洋カープ 元監督</p>	 <p>矢野 博丈氏 株式会社大創産業 会長 (2024年2月12日ご逝去)</p>
 <p>上田 宗岡氏 茶道上田宗箇流 家元</p>	 <p>弘兼 憲史氏 漫画家</p>	 <p>山極 壽一氏 総合地球環境学研究所 所長 京都大学 前総長</p>
 <p>川淵 三郎氏 日本サッカー協会 キャプテン(相談役) Jリーグ 初代チエマン</p>	 <p>深山 英樹氏 広島商工会議所 会頭 広島ガス株式会社 相談役・名誉会長</p>	 <p>山坂 哲郎氏 株式会社バルコム 代表取締役 広島大学教育学部卒業</p>
 <p>楠 雄治氏 楽天証券株式会社 代表取締役社長 広島大学文学部卒業</p>	 <p>不破 亨氏 湧永製薬株式会社 前取締役副会長</p>	 <p>山下 良則氏 株式会社リコー 代表取締役会長</p>

広島大学が擁する東広島・霞・東千田の3キャンパスには、学部棟・研究科棟のほかに、5つの附属図書館をはじめ、さまざまな実験・研究施設や文化・スポーツ施設が揃い、第一線の教育・研究活動が展開されています。

東広島キャンパス 東広島市

総合科学部
 文学部
 教育学部
 経済学部
 理学部
 工学部
 生物生産学部
 情報科学部

約250万㎡もの広さを持つ東広島キャンパスは、広島県の中央部に位置する東広島市にあります。総合科学部をはじめとする8学部と3大学院が設置され、広島大学の中心となるキャンパスです。



霞キャンパス

広島市

■ 医学部 ■ 歯学部 ■ 薬学部

広島市内にある霞キャンパスは、医学部、歯学部、薬学部、大学院医系科学研究科が設置されています。敷地内に広島大学病院や研究施設なども併設され、最先端医療の教育・研究・臨床の情報発信拠点としての役割を担っています。



最先端医療教育・研究・臨床の
情報発信拠点

広島大学の
歴史が息づく
学びの拠点

東千田 キャンパス

広島市

■ 法学部 ■ 経済学部 夜間主コース

東千田キャンパスは広島市内にあり、東広島市への統合移転前に、広島大学が設置されていた場所の一部に当たります。法学部(昼間コース・夜間主コース)・経済学部(夜間主コース)の授業を実施しています。





フェニックス国際センター MIRAI CREA(ミライ クリエ)

〈東広島キャンパス〉

「緑で紡ぐ交流の丘」をコンセプトに、持続可能社会を体現するシンボリックな外観デザインで2021(令和3)年10月に開館しました。開放的な多目的スペースやコミュニティキッチン、カフェ、会議室などがあり、3階以上の宿舎スペースには交流ラウンジなどを配置。7階にはトップクラスの研究者用の居室も整備しています。多様な人々との交流と知識の循環、海外のトップ研究者や優れた留学生への安全で快適な居住空間の提供など複合的な機能を持ち、国際的研究拠点東広島の形成に向けた「知の拠点」の役割を果たします。



福山通運 小丸賑わいパビリオン

〈東広島キャンパス〉

学生のための多目的施設として、2019(令和元)年に完成。広島県産木材を用いた室内は、学生の起業活動や集会、自習など、さまざまな用途に活用できます。福山通運株式会社および公益財団法人渋谷谷英会の寄贈で、ヤマネホールディングス株式会社が施工しました。



中央図書館(東広島キャンパス)



西図書館(東広島キャンパス)



東図書館(東広島キャンパス)



霞図書館(霞キャンパス)



東千田図書館(東千田キャンパス)

図書館

広島大学図書館は5館で構成され総蔵書数は約341万冊と、全国有数の規模を誇ります。中央図書館内にはパソコンからの指示を受け、棚から窓口まで本を運ぶ機能を持つ「自動書庫」があり、約37万冊が収蔵されています。また江戸時代から現在までの教科書コレクションをはじめ、数多くの貴重な資料を所蔵しています。

施設概要(令和6年現在)

図書館名・所在地	面積	閲覧座席数	蔵書冊数	主な蔵書
中央図書館	16,053㎡	992席	約227万冊	人文・社会科学、教育学、自然科学系の図書・雑誌
東図書館	1,745㎡	32席	約24万冊	自然科学系(主に工学、生物学)の図書・雑誌
西図書館	6,102㎡	839席	約64万冊	全科の教養、学習参考図書・雑誌、自然科学系の図書
霞図書館	2,382㎡	385席	約19万冊	医学、歯学、薬学、保健学系の図書・雑誌
東千田図書館	1,610㎡	90席	約7万冊	法学、経済学系の図書・雑誌

データベース／サービス

新聞記事や雑誌記事検索などの各種データベースをはじめ、映画や音楽、語学学習用ソフトなどの視聴覚資料が利用できます。また学習や研究に必要な資料・情報などの入手を、図書館スタッフがサポートします。

ライティングセンター

授業の課題やレポートなど、文章の書き方で困った学生の相談に対応しています。文章指導の専門的な研修を受けた大学院生のチューターが、対話やブレインストーミングを通して、よりわかりやすい文章を作成できるようにサポート。英語論文の相談も受け付けています。



学修支援スペースBIBLA(ビブラ)

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションの練習ができるスペースや、インターネット(Wi-Fi)を使って自習ができるスペースなどがあります。自由に使える移動式のホワイトボードや図書資料を広げてゆっくり使える書斎のようなデスクが人気です。また霞図書館のBIBLAは霞キャンパスの学生に限り24時間利用できます。

特別コレクション

中央図書館には、特別コレクションとして個人文庫、特別集書、大型コレクション、寄託資料などの貴重な文献を収蔵しています。これらの一部はデジタルコレクションとして電子化して公開しています。



福沢諭吉「学問のすすめ」
1872(明治5)年



マルクス「資本論」
第1巻初版本



詳しい情報はこちらから!



日本語版

<https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

英語版

<https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?lang=english>



サタケメモリアルホール 〈東広島キャンパス〉

大学創立50周年を記念して建設されました。グランドピアノをイメージした外観が美しいホールです。学会などの学術交流をはじめ、音楽や演劇などの芸術活動、地域の方々との交流など、多目的に利用されています。この建物は、株式会社サタケをはじめ同窓生や企業などの寄付により設置されました。



総合博物館 〈東広島キャンパス〉

広島大学総合博物館は、本館を中心にキャンパス内に点在するサテライト館とそれらをつなぐ「発見の小径(東広島キャンパスの広大な敷地を利用した自然散策道)」で構成した、キャンパスまるごと博物館です。常設展示のほかに、企画展やフィールドナビ(野外観察会)などのイベントも開催しています。

本館

広島大学の紹介や、貴重な化石・剥製、地域の環境や文化に関わる資料を展示する総合博物館の中心施設で、インフォメーションセンターの役割も担っています。



サテライト館

各学部やセンターの専門的な研究内容を展示・紹介しています。埋蔵文化財調査部門・生物生産学部・理学部・文学部・中央図書館・両生類研究センターの6カ所にあります。



発見の小径

四季折々の自然の移り変わりを楽しむとともに、キャンパス内に生息する絶滅危惧種を含む多様な生物や、先史時代以降の多数の遺跡を見ることができます。

東千田未来創生センター 〈東千田キャンパス〉



法学部などの講義を行うとともに、産学官連携の教育・研究プロジェクト事業を実施することを目的として設置されました。また、保健管理センター、東千田端末室および自習ができるBIBLA Sendaなど、東千田キャンパスの多くの学生が共用する施設を備えています。

リーガル・サービス・センター 〈東千田キャンパス〉



大学院人間社会科学研究所附属リーガル・サービス・センターは、法科大学院の社会貢献の機能を担う部門として2005(平成17)年に開設し、民事事件の無料法律相談を毎週1回行っています。

医学資料館 〈霞キャンパス〉



戦時中に、広島陸軍兵器補給廠(ほきゅうしょう)の兵器庫として使用されていた旧医学資料館を1999(平成11)年に解体後、ほぼ同じデザインで再建しました。現在の建物には、被爆当時のレンガや石の一部が再利用され、被爆建物に指定されています。

病院 〈霞キャンパス〉

広島大学病院は、「全人的医療の実践」「優れた医療人の育成」「新しい医療の探求」を理念に掲げ、中国・四国地域の中核医療機関として、急速な進歩を続ける医学に対応する先進的な医療を提供しています。

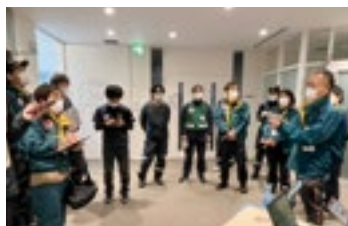


地元プロチームとの連携

広島東洋カープ、サンフレッチェ広島、JTサンダース広島、広島ドラゴンフライズなど、プロスポーツチームの拠点となっている地域性を生かし、これらのチームと積極的に連携しています。新入団選手の体力測定や選手の日常的な健康管理指導などを通して、競技パフォーマンスの向上に貢献しています。



災害への対応



災害発生時には、災害派遣医療チーム(DMAT)が出勤し被災地で積極的な医療支援活動を行っています。能登半島地震では、DMATのほか、JRAT(日本災害リハビリテーション支援協会)、JMAT(日本医師会災害医療チーム)、災害支援ナース、感染症関連のDICT(災害時感染制御支援チーム)および災害登録派遣薬剤師(日本病院薬剤師会)が出勤し、医師、看護師を中心に33人の職員が、被災地で医療支援に取り組みました。

詳しい情報はこちらから!



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/>



学部学生 **10,645**人

大学院学生 **4,631**人

教職員数 **3,455**人

学生 **4.4**人
当りに1人

令和5年度 博士学位授与数 **360**人

THEインバクトランキング 2024
3年連続 国内 **3**位
SDGs 3項目で国内単独 **1**位
国内最多7項目で世界 **100**位以内

学部卒業生数
累計 **151,418**人

広島大学図書館
年間入館者数 **約67**万人
開館日
1日当たり **2,278**人

広島大学図書館蔵書数
約 **341**万冊
学生1人当たり
約 **223**冊

東広島キャンパス
敷地面積 **約249**万m²
広島市民球場
(マツダスタジアム)
49個分

数字で見る
広島大学

(令和6年5月1日現在)

沿革

広島大学は、日本で最も多くの前身校(9校)を持つ大学です。広島師範学校(白鳥学校として明治7年創設)、広島女子高等師範学校(広島高等女学校として明治20年創設)、広島高等師範学校(明治35年創設)、広島工業専門学校(広島高等工業学校として大正9年創設)、広島青年師範学校(広島県実業補習学校教員養成所として大正11年創設)、広島高等学校(大正12年創設)、広島文理科大学(昭和4年創設)の7校を包括し、広島市立工業専門学校(昭和20年4月創設)を併合して新制広島大学は誕生しました。昭和28年には、新制広島医科大学(広島県立医学専門学校として昭和20年8月創設)を併合しました。

1874 (明治7)年～
●前身諸学校の創設



1945 (昭和20)年
●広島市に原子爆弾投下



1949 (昭和24)年
●新制国立大学の一つとして、
広島大学創設
(6学部・4分校・1研究所)

1950 (昭和25)年
●広島大学開学式
●初代学長の森戸辰男が
広島大学を「自由で平和な
一つの大学」にすることを表明

1953 (昭和28)年
●県立広島医科大学を併合
●大学院を設置(3研究科)



1956 (昭和31)年
●広島大学学章を制定

1957 (昭和32)年
●広島大学歌を制定

1972 (昭和47)年
●評議会が統合移転を決定

1982 (昭和57)年
●東広島キャンパス開校



1995 (平成7)年
●統合移転完了

1999 (平成11)年
●創立50周年

2002 (平成14)年
●中国・北京に初の海外拠点を設置



2004 (平成16)年
●国立大学法人広島大学発足

2006 (平成18)年
●到達目標型教育プログラムを導入

2013 (平成25)年
●病院新診療棟開院

2016 (平成28)年
●東千田未来創生センターを設置

2018 (平成30)年
●情報科学部を設置

2019 (平成31・令和元)年
●大学院統合生命科学研究科、
医系科学研究科を設置

2020 (令和2)年
●大学院人間社会科学研究科、
先進理工系科学研究科を設置

2021 (令和3)年
●フェニックス国際センター
MIRAI CREA(ミライ クリエ)開館

2022 (令和4)年
●アリゾナ州立大学サンダーバード
グローバル経営大学院
広島大学グローバル校開校

2023 (令和5)年
●法学部が東千田キャンパスへ移転



●スマートソサイエティ実践科学研究院を設置

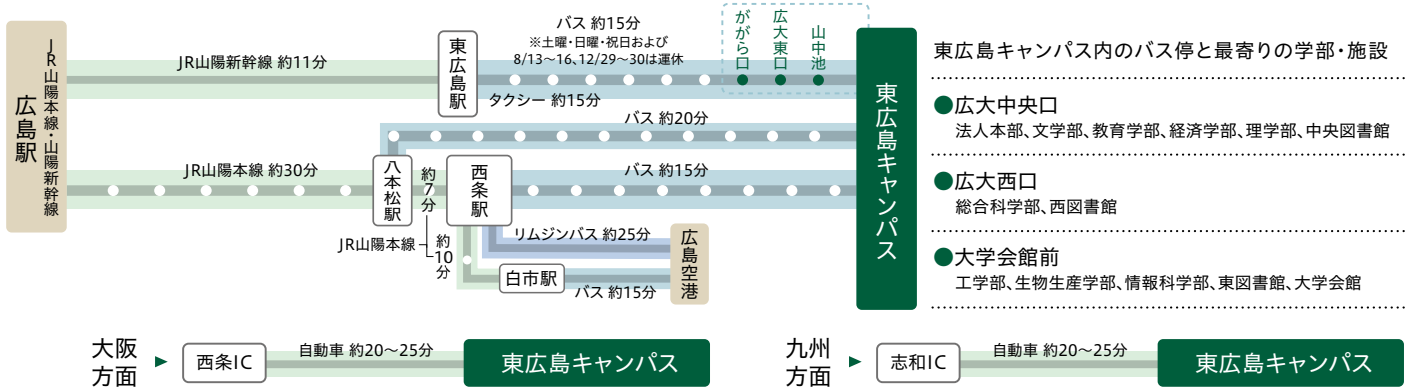
2024 (令和6)年
●創立75周年

立地・アクセス

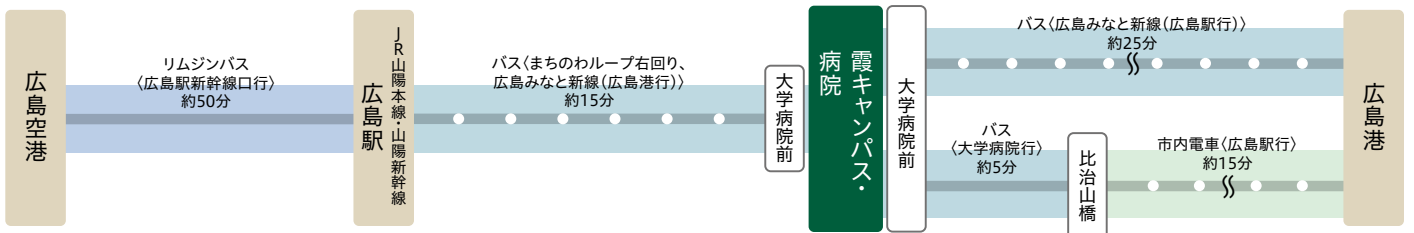
平和を希求する歴史的背景を持つ広島県。美しい瀬戸内海と豊かな緑に囲まれたキャンパスで、学生たちは伸びやかに自らの学びを追求しています。



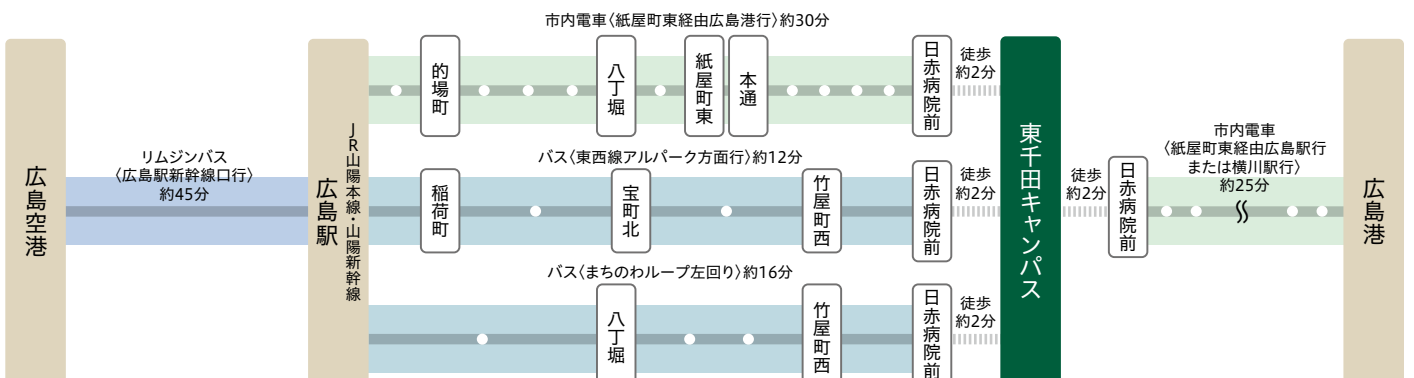
東広島キャンパス



霞キャンパス・大学病院



東千田キャンパス



漕ぎ出せ 混沌の海に 走れ 創造の彼方へ

— 100年後にも世界で光り輝く大学へ —



広島大学
マスコットキャラクター
「ひろてぃー®」



広島大学



TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN

広島大学広報室

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL.082-424-3701 FAX.082-424-6040

E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp

ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp>



このパンフレットは環境に優しい
「植物油インキ」を使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。